

令和7(2025)年度

学生募集要項

一般選抜 A方式(個別学力試験) B方式(大学入学共通テスト利用)

入学試験日程等	1
一般選抜は簡単で便利なWeb出願！	2
一般選抜A方式のポイント	3～4
一般選抜B方式のポイント	4～5
募集人員	6
アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）	7～10
出願要件	11～12
一般選抜A方式Ⅰ期・Ⅱ期	入学者選抜の基本方針／選考方法／選考日程
	試験科目／英語資格・検定試験の活用について（Ⅰ期）／
	各科目の出題範囲および出題分野について／旧教育課程履修者への経過措置について...
	試験当日の注意事項
	試験場（千代田キャンパス）
一般選抜B方式Ⅰ期・Ⅱ期	入学者選抜の基本方針／選考方法／選考日程
	試験科目／旧教育課程履修者への経過措置について／
	Ⅰ期・Ⅱ期共通事項
一般選抜A方式、B方式Ⅰ期・Ⅱ期共通	
出願手続	27～28
出願上の注意事項／障がい等のある方への受験・修学上の配慮について／Web受験票の確認	29～31
合格発表	32
追加合格／入学手続	33
よくあるご質問	34～35
入学手続時納入金・学費等	36
学生寮等	37
家政学部食物学科・短期大学部家政科食と栄養コースを受験する方へ	38
入学予定者への課題・プレイスメントテストについて	39
災害により被災した入学志願者に対する特別措置について／履修地	40

記載されている日程および選抜方法に変更が生じる場合は、随時本学ホームページでお知らせします。



大妻女子大学

大妻女子大学短期大学部

入学試験日程等

■一般選抜A方式（個別学力試験）

入試種別・方式	A方式Ⅰ期	A方式Ⅱ期
出願期間	令和7年1月6日（月）～1月20日（月） 郵送・当日消印有効	令和7年2月6日（木）～2月19日（水） 郵送・当日消印有効
Web受験票発表日	令和7年1月24日（金）～2月13日（木）	令和7年2月23日（日）～3月13日（木）
試験日	令和7年2月1日（土）、2月2日（日）	令和7年3月2日（日）
	詳細は13ページを参照	
試験場	千代田キャンパス	
合格発表日	令和7年2月6日（木）	令和7年3月6日（木）
入学手続締切日	令和7年2月13日（木）★	令和7年3月13日（木）

■一般選抜B方式（大学入学共通テスト利用）

入試種別・方式	B方式Ⅰ期	B方式Ⅱ期
出願期間	令和7年1月6日（月）～1月22日（水） 郵送・当日消印有効	令和7年2月6日（木）～2月20日（木） 郵送・当日消印有効
Web受験票発表日	令和7年1月27日（月）～2月15日（土）	令和7年2月25日（火）～3月13日（木）
試験日	令和7年度大学入学共通テスト （本学での学力試験は行いません）	
試験場		
合格発表日	令和7年2月8日（土）	令和7年3月6日（木）
入学手続締切日	令和7年2月15日（土）★	令和7年3月13日（木）

★A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期の入学手続時納入金は一括納入または分割納入（2段階方式）を選択することができます（追加合格の場合は一括納入となります）。13ページ、22ページをご確認ください。

大学案内、入試ガイドをお持ちでない方へ

大学案内2025、入試ガイド2025をお持ちでない方は、本学ホームページの資料請求ページからお取り寄せください。無料でお送りします。なお、同ページの電子ブックでもご覧になれます。

個人情報の取り扱いについて

提出いただいた出願書類により得られた個人情報は、出願書類に関する問い合わせ、本学の入学者選抜および合否に関する連絡、統計調査を行うために利用し、他の目的で利用することはありません。ただし、入試結果について、在籍（出身）高等学校の進学指導のための情報として通知することもあります。

なお、個人情報のデータ処理等については、外部に業務を委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理いたします。

不測の事態が起きた場合の対応について

不測の事態が起きた場合の対応は、本学ホームページよりお知らせします。

大妻女子大学ホームページ <https://www.otsuma.ac.jp/>

問い合わせ窓口 広報・入試センター（千代田）tel. 03-5275-0404

一般選抜は簡単で便利な Web出願!

大妻女子大学ホームページ

▶ 入試・入学 ▶

出願・面接日・合格発表 ▶

Web出願

一般選抜A方式(個別学力試験)・B方式(大学入学共通テスト利用)は「Web出願」のみになります。
インターネットの環境さえあれば、いつでもどこからでも出願できます。

出願者情報

出願先など登録

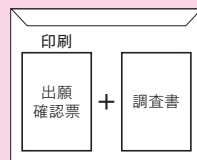


入学検定料

支払方法いろいろ



送付物



出願受付



Web出願から試験当日の流れ

- ・Web出願前に学生募集要項を必ずご確認ください。
- ・なお、出願期間内であれば、A方式・B方式どちらも1回のWeb出願登録で出願できます。

STEP 1 Web出願サイトにアクセス

本学ホームページ「入試・入学」▶「出願・面接日・合格発表」▶「Web出願」ページ上部の「Web出願サイト」(<https://sak-sak.net/app/owu>) ボタンからアクセスしてください。

※出願期間直前に出願サイトにアクセス可能

STEP 2 出願に必要な情報を登録

画面の表示に従って出願に必要な情報を入力し、その内容を確認してください。
Web出願完了後に英語資格・検定試験の活用の有無等の変更をすることはできません。

STEP 3 入学検定料の振り込み

入学検定料の支払方法を選択し、支払手続を行ってください。
支払手続が完了していないと、STEP4に進めません。
※支払方法によっては、STEP4のリンク掲載まで時間を要する場合があります。

支払いについて

【クレジットカード支払いの場合】

①「クレジットカードお支払い方法」から選択

②支払い

③出願確認票と宛名ラベルを印刷

【クレジットカード支払い以外の場合】

①「現金(コンビニエンスストア、Pay-easy)お支払い方法」から選択

②支払い

③出願確認票と宛名ラベルを印刷

入学検定料の割引制度について

- ・入学検定料および併願による割引制度については、4～5ページをご確認ください。
- ・A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期・Ⅱ期それぞれ別々の割引制度が適用されます(異なる方式での割引制度はありません)。

STEP 4 提出書類の印刷

「出願確認票」と「宛名ラベル」を必ず印刷してください。

プリンターをお持ちでない方

出願確認票を一旦、PDFで保存し、プリンターがある環境で印刷してください。

入学検定料の支払方法

- クレジットカード
Mastercard、VISA
- 銀行
※ATMの場合 Pay-easy
※ネットバンキングの場合 住信SBIネット銀行、PayPay銀行、楽天銀行、Pay-easy
- コンビニエンスストア
セイコーマート、セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン

STEP 5 提出書類の送付

宛名ラベルを貼った封筒に提出書類一式を入れ、出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留速達」で郵送してください。

34ページのQ&Aも参照してください。

STEP 6 出願完了

出願手続は完了です。

A方式(個別学力試験)のWeb受験票確認の際、出願登録時の「ユーザID」と「パスワード」が必要ですので、大切に保管してください。

※複数の「ユーザID」で出願登録された方は、最後に登録したものでログインしてください。

STEP 7 Web受験票の確認

A方式(個別学力試験)Ⅰ期: 令和7年1月24日～2月13日

A方式(個別学力試験)Ⅱ期: 令和7年2月23日～3月13日

B方式(大学入学共通テスト利用)Ⅰ期: 令和7年1月27日～2月15日

B方式(大学入学共通テスト利用)Ⅱ期: 令和7年2月25日～3月13日

上記の期間に、29～31ページに従って、受験票を確認してください。

STEP 8 Web受験票の印刷(A方式(個別学力試験)のみ)

STEP7で確認した受験票を、A4サイズで印刷してください。

STEP 9 試験当日(A方式(個別学力試験)のみ)

STEP8で印刷した受験票を持参し、いざ試験に挑んでください。

提出書類

- 出願確認票(STEP4で印刷した書類)
【一般選抜A方式(個別学力試験)】顔写真を必ず所定欄に貼付してください。
【一般選抜B方式(大学入学共通テスト利用)】令和7大学入学共通テスト成績請求票(私立大学・公私立短期大学用)を必ず所定欄に貼付してください。
※顔写真は必要ありません。
- 英語資格・検定試験を活用する場合、該当の証明書類を提出してください。
- 調査書等の提出書類は出願要件によって異なります。必ず学生募集要項掲載の「出願要件を証明する書類等」(11ページ)を確認し、提出してください。
- 各種証明書の発行には時間がかかる場合がありますので、余裕をもって手続きをしてください。

一般選抜
A方式Ⅰ期
A方式Ⅱ期
(個別学力試験)

一般選抜 A方式のポイント

- ① 本学独自の学力試験です。
Ⅰ期は、学力試験の成績、調査書等を総合して可否を判定します。
Ⅱ期は、学力試験の成績、面接（一部の学科・専攻・コース）、調査書等を総合して可否を判定します。
- ② 「Ⅰ期（試験日2/1、2/2）」「Ⅱ期（試験日3/2）」があります。
- ③ Ⅰ期は、各学科・専攻・コースが指定する選択科目を必要科目数以上受験した場合、高得点の科目で判定します。
- ④ Ⅰ期は、英語資格・検定試験を活用できます。対象となる英語の資格等の基準を満たしている場合、「英語」の成績とみなします。本学で該当する試験日の「英語」の学力試験も受験した場合は、高得点の点数で判定します。
- ⑤ 試験場は、全ての学科・専攻・コースとも千代田キャンパスです。
- ⑥ 一般選抜B方式（大学入学共通テスト利用）Ⅰ期・Ⅱ期にも出願できます。

I期 試験日が同じ学科・専攻・コースに併願できます！

◎ 出願した学科・専攻・コースが指定する試験科目(出題分野)を全て解答すると、出願した学科・専攻・コースごとに可否がでます。

〈例〉2/1(土)
社会生活情報学専攻と人間福祉学科に
英語資格・検定試験の活用ありで
出願した場合

英語資格・検定試験活用 出願時に証明書類を提出する	→	国語	現代文①	現代文②	+	英語 (A) 学力試験も受験 or (B) 学力試験は受験せず
			2分野を解答する			

▶ (A) 英語資格・検定試験と2/1「英語」の学力試験の各得点のうち、高得点を採用します。
(B) 英語資格・検定試験の得点のみを採用します。

〈例〉2/1(土)
日本文学科と社会学専攻に
出願した場合

国語	現代文①	現代文②	古文	漢文	+	英語	解答する
4分野とも解答する							

〈例〉2/2(日)
食物学専攻、管理栄養士専攻と
短大食と栄養コースに出願した場合

国語	現代文①	現代文②	or	英語	解答する	+	理科	化学※	生物※
2分野を解答する								どちらかを解答する	

▶ 国語と理科、または英語と理科で合格判定に用いる科目数を満たします。
国語と英語の両方を解答した場合は、高得点の科目で判定します。

※ 化学基礎もしくは生物基礎だけの解答では食物学専攻と管理栄養士専攻の可否判定に用いる科目として満たしません。

2/1(土)、2/2(日)の両日試験を実施している学科・専攻・コース[家政学部ライフデザイン学科、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部]は両日とも出願可能です。(※ただし、両日とも試験を受けてください)

I期 試験日が異なる学科・専攻・コースにも併願できます！

- ◎ それぞれの試験日に、出願した学科・専攻・コースが指定する試験科目(出題分野)を全て解答してください。
- ◎ 家政学部ライフデザイン学科、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部は受験日を選択することができます。同じ学科・専攻・コースに2日間とも出願することも、それぞれ学科・専攻・コースを変えて出願することもできます。同じ学科・専攻・コースを2日間とも受験し、2日間とも得点が合格ラインを上回った方には、2通の合格通知書と入学手続き書類が送付されます。
- ◎ 家政学部ライフデザイン学科、文学部日本文学科・コミュニケーション文化学科、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部家政科は試験日によって試験科目が異なります。(14・15ページ参照)

I 期

併願は入学検定料が割引されます！

- ◎ 1 回の Web 出願登録ごとの割引制度適用となります。
- ◎ 一般選抜 A 方式 I 期、一般選抜 B 方式 I 期・II 期それぞれ別々の割引制度が適用されます。
- ◎ 家政学部ライフデザイン学科、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部は2/1、2/2の2日間とも試験を実施します。同一学科・専攻・コースを両日とも出願する場合、入学検定料は2学科・専攻・コース分になります。
- ◎ 一度出願したあと、同じ入試方式に追加出願する場合、前回とあわせての割引にはなりません。

A 方式 I 期で併願する場合

1 学科・専攻・コース 35,000 円ですが、2 学科・専攻・コース目から、1 学科・専攻・コースにつき 5,000 円になります。

例) I 期 2/1 の日本文学科に出願

1 学科・専攻・コース分 35,000 円

例) I 期 2/2 の食物学専攻、管理栄養士専攻に出願

2 学科・専攻・コース分 40,000 円
(35,000 円 + 5,000 円)

30,000 円
割引

例) I 期 2/1 の情報デザイン専攻、
2/2 の情報デザイン専攻、短大家政総合コース
に出願

3 学科・専攻・コース分 45,000 円
(35,000 円 + 5,000 円 + 5,000 円)

60,000 円
割引

複数学科・専攻・コースへの出願や、受験についてご不明な点があれば、広報・入試センター（千代田）にお問い合わせください。

一般選抜
B 方式 I 期
B 方式 II 期
(大学入学共通テスト利用)

一般選抜 B 方式のポイント

- ① 令和 7 年度大学入学共通テストの成績と、調査書等を総合して可否を判定します。
本学独自の学力試験はありません。
- ② 「I 期(合格発表 2/8)」 「II 期(合格発表 3/6)」があります。
- ③ 出願した学科・専攻・コースが指定する選択科目を必要科目数以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。
- ④ 英語資格・検定試験を活用できます。対象となる英語の資格等の基準を満たしている場合、「英語」の成績とみなします。共通テストの「英語」も受験した場合は、高得点の点数で判定します。
- ⑤ 一般選抜 A 方式（個別学力試験） I 期・II 期にも出願できます。

I 期・II 期

自己採点の後でも出願できます！

- ◎ I 期の出願締切（郵送・当日消印有効）は 1/22（水）なので、大学入学共通テストの自己採点後でも出願できます。

2025 年 1 月						
月	火	水	木	金	土	日
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	2/1	2/2

※ B 方式 II 期の出願期間は 2/6（木）～ 2/20（木）（郵送・当日消印有効）

I 期

2科目型と3科目型を併願できる学科・専攻があります！

- ◎ 次の学科・専攻は、2科目型と3科目型の併願も可能です。
両方出願することで、2科目型、3科目型それぞれで可否を判定します。

学部	学科・専攻
家政学部	被服学科、児童学科児童教育専攻
文学部	日本文学科、英語英文学科、コミュニケーション文化学科
社会情報学部	社会情報学科環境情報学専攻、情報デザイン専攻
人間関係学部	人間関係学科社会学専攻、社会・臨床心理学専攻
比較文化学部	比較文化学科
データサイエンス学部	データサイエンス学科

I 期・II 期

併願は入学検定料が割引されます！

- ◎ 1 回の Web 出願登録ごとの割引制度適用となります。
- ◎ 一般選抜 A 方式 I 期、一般選抜 B 方式 I 期・II 期それぞれ別々の割引制度が適用されます。
- ◎ 2科目型・3科目型を併用して実施する学科・専攻・コースは、同一学科・専攻・コースを両科目型とも出願する場合、入学検定料は2学科・専攻・コース分になります。
- ◎ 一度出願したあと、同じ入試方式に追加出願する場合、前回とあわせての割引にはなりません。

B 方式で併願する場合

1学科・専攻・コース15,000円ですが、2学科・専攻・コース目から、1学科・専攻・コースにつき5,000円になります。

例) I 期で比較文化学科に出願	1学科・専攻・コース分 15,000 円	
例) I 期で食物学専攻と短大食と栄養コースに出願	2学科・専攻・コース分 20,000 円 (15,000円+5,000円)	10,000円 割引
例) I 期で被服学科の2科目型と3科目型の両方に出願	2学科・専攻・コース分 20,000 円 (15,000円+5,000円)	10,000円 割引
例) II 期でライフデザイン学科、環境情報学専攻、人間福祉学科に出願	3学科・専攻・コース分 25,000 円 (15,000円+5,000円+5,000円)	20,000円 割引
例) I 期で児童学専攻、II 期で短大家政総合コースに出願	B 方式の I 期と II 期は、出願期間が異なるので、割引の対象になりません。	

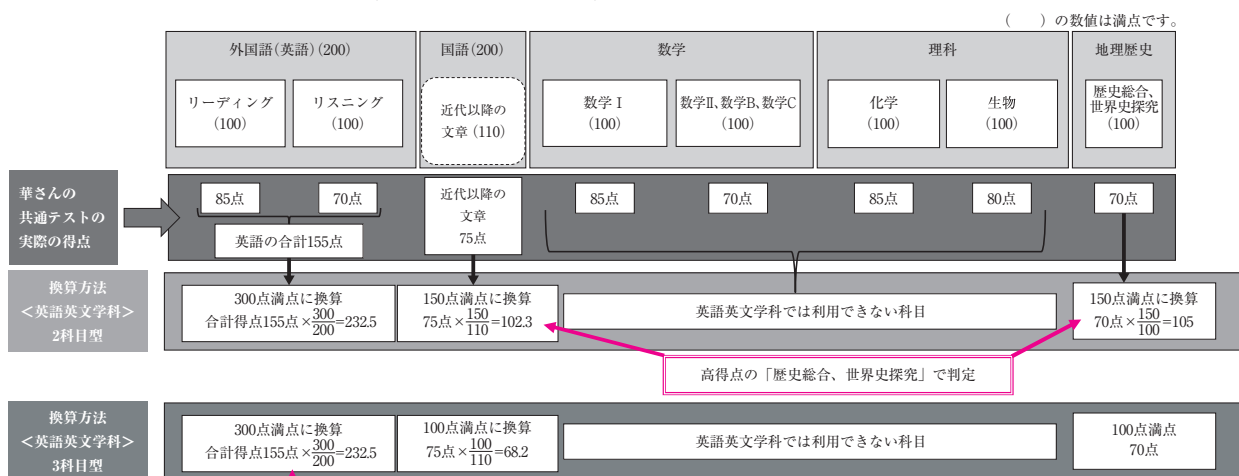
I 期・II 期

採用教科の例

例：大妻 華さん

本学への出願学科：英語英文学科2科目型と3科目型の両方に出願

共通テスト受験科目：外国語（英語）、国語、数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ、数学B、数学C）、理科（化学・生物）、地理歴史（歴史総合、世界史探究）の5教科



さらに実用英語技能検定2級合格の証明書類を提出した場合・・・
300点×8割換算となり、「英語資格・検定試験の成績」を240点と見なします。
「大学入学共通テストの英語の成績」を換算した得点が232.5点のため、
高得点の「英語資格・検定試験の成績」240点を活用します。

※英語資格・検定試験の活用については26ページも参照ください。

華さんの2科目型の得点の合計は240点+105点=345点、
3科目型の得点の合計は240点+68.2点+70点=378.2点となります。
これに調査書の点数（10点満点）を加算した点数で可否を判定します。

募集人員

大学学部（4年制）

学部・学科・専攻			入学 定員	募集人員				
				一般選抜 A 方式 (個別学力試験)		一般選抜 B 方式 (大学入学共通テスト利用)		
						I 期		II 期
		I 期	2科目型	3科目型				
家政学部	被服学科		110	22	5	5	3	—
	食物学科	食物学専攻	80	26	—	—	4	—
		管理栄養士専攻	50	17	—	—	6	—
	児童学科	児童学専攻	80	22	5	10	—	—
		児童教育専攻	50	15	4	5	4	3
	ライフデザイン学科		120	20	5	15	—	5
文学部	日本文学科		120	20	5	7	7	5
	英語英文学科		120	35	5	9	5	3
	コミュニケーション文化学科		120	20	5	6	6	3
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	22	5	—	18	5
		環境情報学専攻	100	20	5	8	8	5
		情報デザイン専攻	100	25	8	10	10	5
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	80	15	5	5	5	5
		社会・臨床心理学専攻	80	15	5	7	3	5
	人間福祉学科		100	16	5	7	—	3
比較文化学部	比較文化学科		165	40	10	10	5	5
データサイエンス学部	データサイエンス学科		90	20	5	10	8	5

短期大学部（2年制）

学科・コース			入学 定員	募集人員			
				一般選抜 A 方式 (個別学力試験)		一般選抜 B 方式 (大学入学共通テスト利用)	
				I 期	II 期	I 期	II 期
短期大学部	家政科	家政総合コース	35	8	2	3	2
		食と栄養コース	55	13	2	5	2

※受験者の学力状況により合格者数が募集人員を満たさない場合があります。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

※「知識および技能」にある科目のすべてを履修していなければ出願できないというわけではありません。

大妻女子大学

大妻女子大学は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 深く幅広い知識・教養及び専門的知識・技術を修得し、考察を深めるための基礎的な学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 自らの人生を積極的に考え、豊かな実りある将来を築きたいという意志を持っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)コミュニケーション力を磨き、主体的かつ創造的に問題の解決に取り組む意欲を持っている。
(2)人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。

家政学部

家政学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学問の出発点をなす、しっかりした基礎学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 生涯を通じて、個人と家庭の生活、社会の改善を考え、行動していきたいと思っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)人間の生活のあり方とその改善に強い関心を抱き、そのために主体的に学ぼうとする姿勢を有している。
(2)他の人々との協力、協働、社会的連帯ができる能力を持っている。

被服学科	被服学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。 (2)高等学校で履修する、国語、英語、家庭、数学、化学、日本史、世界史、公民などについて内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)物事を多面的かつ論理的に考察することができる。 (2)自分の考えを的確に表現し、円滑に伝えることができる。
食物学科 食物学専攻	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)被服について関心があり、その専門知識を身に付けたい意欲がある。 (2)目標の実現に向けて積極的に取り組み、最後までやり遂げる意欲がある。
	食物学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2)読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
食物学科 管理栄養士専攻	2. 思考力・判断力・表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)食に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣を身につけている。 (2)行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
	管理栄養士専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
食物学科 管理栄養士専攻	1. 知識および技能	(1)専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2)読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)食と健康に関して好奇心が強く、自分で調べる習慣が身につけている。 (2)管理栄養士としての使命や役割に強い関心を持ち、行動力・体力・気力があり、社会貢献への熱意と意欲がある。
児童学科 児童学専攻	児童学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)子どもをめぐる問題に気づき、自分なりの考えを持つことができる。 (2)他者の考えを理解した上で自分の考えを整理し、論理的に考察し他者に伝えることができる。
児童学科 児童教育専攻	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)子どもと子どもをめぐる大人に強い関心を持ち、温かなまなざしで柔軟に他者と関わろうとする態度を有している。 (2)自分の興味関心を大切に、そのことを考え続けようとする態度を有している。
	児童教育専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
児童学科 児童教育専攻	2. 思考力・判断力・表現力等	習得している知識・技能を働かせて、子どもをめぐる問題を見出し、解決の方策を工夫しながら自分なりの考えを持ち、それを他者に分かりやすく表現することができる。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	子どもと子どもをめぐる大人に強い関心を持ち、温かなまなざしで他者と関わろうとする態度を有し、かつ子どもが自然事象に関わることに向き合おうとする姿勢を持っている。
ライフデザイン学科	ライフデザイン学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「現代の国語（現代文）」と「英語」の基礎学力をしっかりと身に付けている。 (2)高等学校までの学習や諸活動を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身に付けている。
	2. 思考力・判断力・表現力等	生活に関わる様々な出来事や現象について、人の意見に流されず、自分で考え、自分なりの意見を持つことができ、それを表現できる。
ライフデザイン学科	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践する意欲を持っている。 (2)家族関係や地域の人間関係に関心があり、人と人との温かな交流を促進する意欲を持っている。 (3)生活の中の美に興味があり、美しい暮らしを提言する意欲を持っている。 (4)人間生活と自然環境の調和に興味があり、自ら実践し社会に提言する意欲を持っている。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

文学部

文学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
2. [思考力・判断力・表現力等] (1)人間と言葉に関する事象を考察し、自らの判断を下すことができる人。
(2)自分の知識や意見を表現し、他者と情報を交換することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 人間と言葉に関する未開拓の領域を、主体的に究明しようとする人。

日本文学科	日本文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)日本文学や日本語の歴史を理解し、日本社会や日本語の持つ個性と多様性を知ることにより、現代に生きる私たちに必要な知識の習得に努めるとともに、日本語運用能力やプレゼンテーション能力の進展を図ろうとする意欲を持つ人。 (2)入学までに、現代文、古典の科目を履修し、日本文学史の大きな流れと日本語の特質などについて理解しようとしている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	自分とは異なる立場や意見の人々に対する知的寛容さや柔軟性を兼ね備えた判断力と思考力を持ち、それらを基盤として他者に向かって発信できる表現力・コミュニケーション能力を高める意欲を持つ人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	日本文学や日本語の普遍性を理解し、豊かな情操を育成しながら、みずからの心の支えを主体的に得ることで、自立した女性として将来への大きな力を養おうとする目的意識を持つ人。
英語英文学科	英語英文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	英語の4技能（Speaking, Listening, Reading, Writing）全般の基礎的な力をそなえ、人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)高校までの英語学習を通して、人間・言葉・社会に関する事象に問題意識を持ち、筋道を立てて考え、それを説明することができる人。 (2)他者の意見を理解し、自身の知識や意見を的確に表現することで、他者と情報を交換することができる人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化のいずれかの領域に関心があり、人間・言葉・社会に関する問題を、主体的に究明しようとする人。
コミュニケーション文化学科	コミュニケーション文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後異文化やメディア等について深く学修するために必要となる高等学校卒業相当の基礎的な知識と技能を修得している人。 (2)高等学校までの履修内容のうち、日本語及び英語の基礎的能力（聞く、話す、読む、書く）を正確かつ十分に修得し、コミュニケーションに役立てることができる人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	日常的に新聞、放送メディア、インターネットなどのメディアに接し、国内外の社会の動きに関する知識や情報を積極的に集め、課題を発見した上で、自分の考えを的確に表現できる人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)日本や世界に対する幅広い知的好奇心を持ち、他者と協同して主体的に学ぶことができる人。 (2)大学を卒業後、修得した知識・技能や能力を積極的に社会で役立てたいという意志を持っている人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

社会情報学部

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1)大学での修学に必要な、基礎的な学力を有し、社会、環境、情報を理解するための知識及び技能を獲得したい人。
(2)自らの考えを他者に的確に伝える技能と表現力を有する人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 基礎的な学力をベースに、主体的かつ創造的に、社会、環境、情報の各課題を論理的に分析し解決することのできる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 社会、環境、情報に興味・関心があり、自ら進んで意欲的に学び、卒業後、社会に積極的に貢献したい人。

社会情報学科 社会生活情報学専攻	社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)社会の動きや生活のあり方を理解するための広く深い知識を有し、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を獲得したい人。 (2)高校での社会科・国語科の科目への関心（履修）に留まらず、日頃から社会問題や情報、文章表現等への高い関心を持ち、積極的に読書や情報収集を行なっている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	社会科学やメディアの活用法を学び、社会問題に対する思考と判断力を養い、その帰結としての問題解決への方策を表現する力を獲得したい人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	社会において幅広く活躍するために、大学での学びから得た知見と情報リテラシーを基に、社会の諸事象への関心と分析力、コミュニケーション力を高めることに意欲的な人。
社会情報学科 環境情報学専攻	環境情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後の修学に必要な基礎的な知識を有し、環境を理解するための情報収集能力、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を身につけたい人。 (2)高校での環境に関わる科目（社会科・理科など）の履修に留まらず、日頃から環境への高い関心を持ち、積極的に情報収集を行い、自らの考えを他者に伝える技術と表現力を高めることを心がけている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	自然科学や社会科学の視点から環境について複合的に学び、環境問題に対する思考と判断力を養い、問題解決への方策を論理的に表現して、エコライフを実践したいと考えている人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	エコライフを実践するために、社会や自然のしくみを学んで得た知見と環境情報リテラシーを基に、将来、暮らしを中心とする身近な環境を意欲的にデザインしたい人。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

社会情報学科 情報デザイン専攻	情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校で履修する「数学」「情報」「理科」「国語」「英語」「地理歴史」「公民」の複数の科目あるいはそれらと同等レベルの学習内容について幅広く理解し、基礎的な学力を身につけている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)論理的な思考を深めて総合的に判断できると共に、自ら課題を見いだし、情報を的確に読み取りながら、自らの考えに基づいて行動できる人。 (2)自らの考えを効果的に伝える技能と表現力を有する人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	情報とデザイン及び情報とシステムに興味・関心があって自ら進んで学習する意欲を備えると共に、ボランティアや各種コンテストなど様々な活動に自主的かつ継続的に参加した実績を持つ人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

人間関係学部

人間関係学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学びに必要な、高等学校卒業相当の基礎学力を身につけている人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 問題を多角的にとらえ、創造的・論理的に考えることができ、他人の意見を聞き理解し、自分の意見を表明することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)人間や社会に対して幅広く深い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。
(2)学内・学外での学びや活動に意欲と関心を持ち、意見や関心が異なる人たちとも協力しながらやり遂げることができる人。

人間関係学科 社会学専攻	社会学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に大学の授業で必要となる、文章の解説、発表や討論、レポート作成のための日本語能力の基礎となる「国語」の学力がある人。 (2)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会学を学ぶ上で必要となる基礎的な教科の「地理歴史」「公民」の学力がある人。 (3)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会現象をグローバルな観点から関連付け分析するために必要な「外国語」の学力がある人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	課題を多角的にとらえ、創造的に考える意志を持っている人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)人間や社会に対して幅広い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。 (2)大学で学ぶことに意欲を持っていて、意見や関心が異なる人たちとも柔軟に協力していける人。
人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	社会・臨床心理学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)心理学の専門的知識と技能を学ぶために必要となる、高等学校卒業相当の知識と基礎学力を幅広く身に付けている人。 (2)高校までの履修内容のうち、文章読解、文章（レポート）作成、プレゼンテーション、ディスカッションの基礎となる日本語能力と外国語の基礎力を身に付けている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)社会の様々な問題について、数学（特に統計に関する知識および技能）を用いて科学的に分析・解明していく判断力や論理的思考力を身に付けている人。 (2)グループ学習や課外活動、ボランティア活動の経験があり、集団や組織の中で自分の意見を的確に表現する力と、異なった考え方の人も協力しながら課題をやり遂げることのできる人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間や社会に対して広く深い興味関心を持ち、人間関係性と心理学の専門的知識・技能を生かして社会に貢献したいという意欲を持っている人。
人間福祉学科	人間福祉学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)大学の授業で必要な、高等学校卒業相当の「国語」「英語」の学力がある人。 (2)社会福祉を学ぶ上で、高等学校卒業相当の「地理歴史」又は「公民」の学力がある人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	文章での表現力、読解力及び記述力を持ち、他人の意見を聞き理解し自分の意見を表明することができる人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)身近に発生している福祉に関する問題について深い関心を持ち、その解決に向けて取り組み意欲を持つ人。 (2)学校での学習や課外活動等において、他の人と協力しながら主体的に参加し、課題をやり遂げることができる人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

比較文化学部

比較文化学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

比較文化学科	1. 知識および技能	(1)外国語と外国の歴史や文化についての知識（具体的には「国語」「英語」を基本に外国文化と日本文化を比較するための基準となる「世界史」「日本史」の知識）を持っている。 (2)基本的な語学力と論の構成力を持っている。
	2. 思考力・判断力・表現力等	物事を自分で考え、自分の言葉で表現する姿勢がある。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	意欲的に多様な人々と協働して学ぶ態度がある。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

データサイエンス学部

データサイエンス学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

データサイエンス学科	1. 知識および技能	(1)高等学校における学習を通じて、「英語」、「数学」、「情報」、「国語」を含む幅広い科目の基礎的学力をバランスよく身に付けている人。 (2)データサイエンスを学ぶ上で必要な「数学」などの科目の基礎的な知識を有する人。
	2. 思考力・判断力・表現力等	データサイエンスと経済・経営に関する知識に基づいて、物事を論理的かつ多面的に考え、データを分析して課題の解決策を提案する力を身に付けたい人。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	社会の抱える課題に関心を持ち、他社と協働し、データを活用してビジネスに積極的に貢献したいという意欲を持つ人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

大妻女子大学短期大学部

大妻女子大学短期大学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1)高校の学習で各コースが指定した科目において基礎学力および技能を身につけている。
(2)短期大学部の授業が理解できる一定以上の知識があり、入学後の修学に必要な技能を有している。
2. [思考力・判断力・表現力等] 常に問題意識を持って、自らテーマを見つけ物事を論理的に考える力、自分の考えを的確に相手に伝えることができる能力をそなえている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 多様な人々とコミュニケーションを図って、自立した将来を創り上げていく意欲を持ち、そのための課題に積極的に取り組むことができる。

家政科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。			
家政科	家政総合コース	1. 知識および技能	高校での学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など、入学後の修学に必要な、基礎知識と技能を有し、さらに、資格取得や課外活動など、高校時代に充実した日常生活を送ることができた人。
		2. 思考力・判断力・表現力等	物事を多面的・論理的に、考察と判断ができ、自分の考えを、他者に的確に表現し、伝えることのできるコミュニケーション能力を持ち、さらに、他者の考えを、柔軟に受け入れ、理解する、協調性を有している人。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	生活の基盤である衣、食、住などの学習の他、家政総合コースでの学習に深い関心があり、主体的・積極的に取り組む態度を有し、得られた知識と資格などの専門性を、将来の生活や就職、社会貢献に役立てる意欲のある人。
	食と栄養コース	1. 知識および技能	(1)専門科目を学ぶために必要な「家庭」、「化学」、「生物」などの基礎的な内容を理解している。 (2)読解力や語学力の基礎となる「国語」を通して、聞く、話す、読む、書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。また、実務的な計算能力がある。
		2. 思考力・判断力・表現力等	健康や食生活に関する問題について、知識や情報を基に論理的に考察し、判断したり、行動したりすることができる。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	健康・食生活に対する強い関心を持ち、将来、食を通じて人々の健康に貢献したいという意欲がある。学修課題に積極的に取り組み、主体的に学ぶことができる。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

※ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）は本学ホームページ（<https://www.otsuma.ac.jp/>）をご参照ください。

出願要件

令和7年度一般選抜（A方式、B方式）に出願できる者は、以下のいずれかに該当する女子です。

出願確認票に、出願要件を証明する書類等を添付して出願してください。

出願書類については、28ページをよく読んでください。

出願要件		出願要件を証明する書類等 (出願日から遡って3か月以内に作成した最新のもの。要厳封)
高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者および令和7年3月卒業見込みの者		調査書
通常の課程による12年の学校教育を修了した者および令和7年3月修了見込みの者（特別支援学校の高等部および高等専門学校第3年次を修了した者および令和7年3月修了見込みの者。）		調査書
学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および令和7年3月31日までにこれに該当する見込み者	外国において、学校教育における12年の課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者（外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者および令和7年3月31日までに合格見込みの者は令和7年3月31日までに18歳に達している者）	1. 成績証明書 2. 高等学校卒業証明書（原本） ※卒業証明書（原本）が提出できない場合は、出身学校または公的機関から証明を受けた卒業証書（Diploma）のコピーを提出 ※日本の学校に在籍した場合、その学校の調査書または成績証明書も必要です。
	文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程または相当する課程を有するものとして認定または指定した在外教育施設の当該課程を修了した者および令和7年3月31日までに修了見込みの者	1. 修了（見込み）証明書 2. 調査書または成績証明書
	専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和7年3月修了見込みの者	1. 卒業（修了）証明書または卒業見込み（修了見込み）証明書 2. 調査書または成績証明書
	国際バカロレア資格を取得した者、ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得した者、フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得した者、英国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスド・レベル資格（General Certificate of Education Advanced Level（GCEAレベル）資格）を取得した者、国際Aレベル資格を取得した者、欧州バカロレア資格を取得した者	1. 資格証書のコピー 2. 成績証明書
	文部科学大臣の指定した者 文部科学大臣が指定する国際的な評価団体※（WASC、ACSI、NEASC、CIS、Cognia、COBIS）の認定を受けたものに置かれる12年の課程を修了した者または修了見込みの者	1. 当該教育施設が文部科学大臣が指定する国際的な評価団体の認定を受けた教育施設であることを証明する書類 2. 当該課程を修了したこと（修了見込みであることを証明する書類（いずれも当該教育施設の長が発行するもの） 3. 成績証明書
	高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定に合格した者で令和7年3月31日までに18歳に達している者	合格成績証明書 ※合格証明書は不要
	高等学校卒業程度認定試験に令和7年3月31日までに合格見込みの者で令和7年3月31日までに18歳に達している者	合格見込成績証明書
本学の個別の入学資格審査において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で令和7年3月31日までに18歳に達している者		※出願要件の有無について、出願前に個別の入学資格審査を受けてください。詳細は、12ページをご覧ください。

※出願要件確認のために、上記以外の書類を提出していただくことがあります。

※文部科学大臣が指定する国際的な評価団体は、今後追加されることがあります。

学校教育法施行規則第150条第7号に該当する方の入学資格審査について

この手続が必要な方は、**出身学校の高等学校等コード番号が「54000F」の方のみ**です。このコード番号以外の方は、手続をする必要はありません。

本学では、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」として入学資格認定を必要とする方について、個別の入学資格審査を行います。審査を希望する方は、以下の要領で申請を行ってください。

【入学資格審査の対象者】

学校教育法施行規則第150条第7号に該当する方で、**本学に入学する意思があり**、令和7年（2025年）3月31日までに18歳に達する者

【申請手順】

1. 事前相談

入学資格審査に係る申請を希望する方は、必ず**申請期間前**に、できるだけ早くご相談ください。

2. 申請期間・申請方法

事前相談終了後、以下の申請期間内に、申請書類一式を提出してください。

郵送の場合、表面に「**審査申請書類在中**」と朱書きし**簡易書留速達郵便**または**レターパックプラス**で送付してください。

申請期間（郵送必着）	結果通知	入試方式
令和6年 9月6日（金）～ 9月20日（金）	10月下旬	一般選抜A方式Ⅰ・Ⅱ期、一般選抜B方式Ⅰ・Ⅱ期*出願予定者
令和6年10月4日（金）～ 10月18日（金）	11月下旬	

※一般選抜B方式Ⅰ・Ⅱ期の出願予定者が本学の入学資格審査を申請する場合、大学入試センターへは他大学の入学（出願）資格認定をもって出願することになります。

3. 申請書類

申請書類は、原則として**A4サイズ**に統一してください。

提出書類等は、いかなる事情があっても返却しません。

(1) 入学資格審査申請書（本学所定様式・事前相談後に配付）

(2) 最終出身学校等の教育内容等

学校案内、学則、カリキュラム、卒業に必要な総授業時間数等が**客観的に**確認できる書類

(3) 学習歴の証明書

最終出身学校等の「卒業（見込み）証明書および成績証明書」または「調査書」（各教科・科目の学習記録等が含まれているもの）

(4) 社会での実務経験等が客観的に確認できる書類（各種の学校等での学習歴または社会での実務経験等を有する方のみ）

① 実務経験等の期間および内容を証明する記載が含まれている書類

② 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると客観的に確認できる資格取得証明書等

(5) 令和7年3月31日までに18歳に達することを確認できる書類

健康保険証等のコピー（上記(3)、(4)の書類に生年月日の記載がある場合は提出不要）

※上記以外に、本学が審査に必要と判断した書類の提出を求めることがあります。

4. 審査方法・結果通知

提出された申請書類により審査を行い、申請者宛に郵送で結果を通知します。入学資格を認められた方には、認定書を交付します。

出願時に、**認定書の写し**を出願書類と併せて提出してください。

5. その他

学習歴等が「**修得見込み**」で入学資格の認定を受けた方が、認定を受けた年度内に当該学習歴等の修得に至らなかった場合、入学資格の認定は取り消しとなります。

6. 事前相談、申請書類送付先

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 広報・入試センター 入試グループ

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地（本館E棟1階）

tel. 03-5275-0404 E-mail: nyushi@mlotsuma.ac.jp

事前相談・問い合わせ受付時間：[平日] 8:30～16:40 [土曜日] 8:30～13:10

一般選抜A方式Ⅰ期・Ⅱ期（個別学力試験）

入学者選抜の基本方針（一般選抜A方式、B方式共通）

修学する上で必要な高等学校での基礎学力や思考力等を計るため、各学科・専攻・コース等のアドミッション・ポリシーに準拠した教科・科目の学力試験等を課し、提出された調査書等書類と総合して評価する。

選考方法

1. 学力試験の成績、面接（一般選抜A方式Ⅱ期の家政学部児童学科、社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻、データサイエンス学部データサイエンス学科、短期大学部家政科食と栄養コースのみ実施）と調査書等を総合して合否を判定します。
2. 一般選抜A方式Ⅰ期では「英語資格・検定試験の成績」を提出した場合、それを換算した得点と「該当する試験日の英語の学力試験の成績」を換算した得点のうち、高得点を採用します。
3. 面接は、複数の面接担当者で個人面接またはグループ面接を行います。面接では、志望理由、学科・専攻・コースへの適性、基礎学力などを見ます。
4. 志望する学科・専攻・コースが指定した、合格判定に用いる科目数を満たしていない場合は、受験放棄とみなし、不合格とします。面接についての詳細は、16 ページを確認してください。

＜出願書類の活用方法について＞

調査書、その他の出願書類等のうち、調査書は「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するため「全体の学習成績の状況」を点数化し活用します（データサイエンス学部は「数学の学習成績の状況」も点数化し活用）。その他の出願書類等は点数化せず入学後の資料として活用します。

選考日程

一般選抜A方式Ⅰ期

学部等		出願期間	試験日		合格発表日	入学手続締切日
家政学部	被服学科	令和7年 1月6日（月） ↓ 1月20日（月） 郵送・当日消印有効	令和7年 2月2日（日）	【集合時間】※ 1時限 9:10まで 2時限 11:00まで 3時限 13:10まで 【試験時間】 1時限 9:30から 2時限 11:20から 3時限 13:30から	令和7年 2月6日（木） 14:00～	令和7年 2月13日（木）★
	食物学科					
	児童学科					
	ライフデザイン学科					
文学部						
社会情報学部						
人間関係学部						
比較文化学部						
データサイエンス学部						
短期大学部						

※集合時間は受験者の選ぶ選択科目によって異なります。

★A方式Ⅰ期の入学手続時納入金は一括納入または分割納入（2段階方式）を選択することができます。分割納入の場合、まず入学金を入学手続締切日2/13（木）までに納入してください。その後、入学金以外の納入金を2/26（水）までに納入してください。追加合格の場合は一括納入のみとなります。納入方法などの詳細は合格者に交付する「入学手続の手引」でご確認ください。

一般選抜A方式Ⅰ期で、家政学部ライフデザイン学科、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部を受験される方へ

2月1日、2月2日の2日間から受験日を選択することができます。異なる学科・専攻・コースはもちろん、同じ学科・専攻・コースを2日間連続で受験することもできます。

一般選抜A方式Ⅱ期

学部等		出願期間	試験日		合格発表日	入学手続締切日
家政学部	被服学科	令和7年 2月6日（木） ↓ 2月19日（水） 郵送・当日消印有効	令和7年 3月2日（日）	【集合時間】 9:10まで 【試験時間】 9:30から	令和7年 3月6日（木） 14:00～	令和7年 3月13日（木）
	児童学科					
	ライフデザイン学科					
文学部						
社会情報学部						
人間関係学部						
比較文化学部						
データサイエンス学部						
短期大学部						

一般選抜 A 方式 I 期・II 期（個別学力試験）

試験科目

【解答形式】

記述式・マークシート式併用：国語(2月1日、2月2日、3月2日) ※記述では「知識・思考力・判断力」を評価します。

化学(2月2日) ※記述では「知識・思考力・表現力等」を評価します。

マークシート式のみ：上記以外の科目

A方式 I 期 令和7年2月1日（土） 試験時間：60分間

【記号の見方】

●=必ず受験（必須科目） △=いずれか1科目を受験（時限が異なれば2科目受験可、その場合は高得点の科目で判定）

○=時限の異なるいずれか2科目を受験（時限が異なれば3科目受験可、その場合は高得点の2科目で判定）

・○、△は、出願時でなく、受験時に選択してください。どの科目を選択するかにより受験する時限が異なります。

学部・学科・専攻・コース			時限・科目 (配点)	合格判定に 用いる科目 数と組み合 わせ	満 点	調 査 書 ※	1 時限 9:30 ~ 10:30				2 時限 11:20 ~ 12:20	3 時限 13:30 ~ 14:30
							国語☆ (100 点)				英語 (特記のない場合は100点)	数学 (100 点)
							出題分野					
家 政 学 部	ライフデザイン学科		2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
文 学 部	日本文学科		2 (●と●)	155	5	●	現代文①		古文	漢文	● (50 点)	
	英語英文学科		2 (●と●)	260	10	●	現代文①	現代文②			● (150 点)	
	コミュニケーション文化学科		2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
社 会 情 報 学 部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
		環境情報学専攻	2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
		情報デザイン専攻	2 (○と○)	210	10	○	現代文①	現代文②			○	○
人 間 関 係 学 部	人間関係学科	社会学専攻	2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
		社会・臨床心理学専攻	2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
	人間福祉学科		2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	
比較文化学部 比較文化学科			2 (●と●)	210	10	●	現代文①		古文		●	
データサイエンス学部 データサイエンス学科			2 (●と△)	210	10	△	現代文①	現代文②			△	●
短 期 大 学 部	家 政 科	家政総合コース	1 (△)	110	10	△	現代文①	現代文②			△	
		食と栄養コース	2 (●と●)	210	10	●	現代文①	現代文②			●	

※調査書は、配点10点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×2」で換算、配点5点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」とします。ただしデータサイエンス学部は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」+「数学の学習成績の状況（数学の評定平均値）×1」とします。「高卒認定」「外国の学校修了」など全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が算出できない場合は、配点の50%で換算します。

☆国語では、出題分野の合計得点を各学科・専攻・コースの配点に換算します。出願する学科等が指定した分野で解答していない分野があった場合は、解答した分野の得点で合格判定を行います。

一般選抜A方式Ⅰ期・Ⅱ期（個別学力試験）

A方式Ⅰ期 令和7年2月2日（日） 試験時間：60分間

【記号の見方】

- ★＝必ず受験（必須科目） ■＝いずれか1科目を必ず受験（選択必須科目）
□＝いずれか1科目を受験（時限が異なれば2科目受験可、その場合は高得点科目で判定）
◇＝時限の異なるいずれか2科目を受験（時限が異なれば3科目受験可、その場合は高得点の2科目で判定）
◆＝時限の異なるいずれか1科目を受験（時限が異なれば3科目受験可、その場合は高得点の1科目で判定）
・■、□、◇、◆は出願時ではなく、受験時に選択してください。□、◇、◆はどの科目を選択するかにより受験する時限が異なります。

学部・学科・専攻・コース				時限・科目 (配点)	合格判定に 用いる科目 数と組み合 わせ	満 点	調 査 書 ※	1 時限 9:30 ～ 10:30		2 時限 11:20 ～ 12:20	3 時限 13:30 ～ 14:30										
								国語、数学 (100 点)				英語 (特記のない場合は100点)	理科、地理歴史、公民、情報 (特記のない場合は100点)								
								国語 ☆		数学	化学 ☆		生物 ☆		日本 史	世界 史	公民	情報			
																			出題分野		出題分野
家政学部	被服学科			2 (□と★)	210	10	□	現代文①	現代文②		★	□	化学基礎	化学	□	生物基礎	生物		□	□	
	食物学科	食物学専攻		2 (□と■)	210	10	□	現代文①	現代文②		□	■	化学基礎	化学	■	生物基礎	生物				
		管理栄養士専攻		2 (□と■)	210	10	□	現代文①	現代文②		□	■	化学基礎	化学	■	生物基礎	生物				
	児童学科	児童学専攻		2 (★と★)	210	10	★	現代文①	現代文②		★										
		児童教育専攻		2 (□と★)	210	10	★	現代文①	現代文②		□	□	化学基礎		□	生物基礎					
	ライフデザイン学科			2 (□と★)	210	10	□	現代文①	現代文②		★				□	生物基礎	生物	□	□	□	
文学部	日本文学科			2 (□と★)	155	5	★	現代文①		古文	□ (50点)						□ (50点)	□ (50点)	□ (50点)		
	英語英文学科			2 (★と★)	260	10	★	現代文①	現代文②		★ (150点)										
	コミュニケーション文化学科			2 (□と★)	210	10	□	現代文①	現代文②		★						□	□	□		
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻		2 (◇と◇)	210	10	◇	現代文①	現代文②	◇	◇						◇	◇	◇	◇	
		環境情報学専攻		2 (◇と◇)	210	10	◇	現代文①	現代文②		◇	◇	◇	化学基礎	化学	◇	生物基礎	生物	◇		◇
		情報デザイン専攻		2 (◇と◇)	210	10	◇	現代文①	現代文②		◇	◇	◇	化学基礎	化学	◇	生物基礎	生物	◇	◇	◇
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻		2 (□と★)	210	10	★	現代文①	現代文②		□						□	□	□		
		社会・臨床心理学専攻		2 (□と★)	210	10	★	現代文①	現代文②		□								□	□	
	人間福祉学科			2 (□と★)	210	10	★	現代文①	現代文②		□						□	□	□		
比較文化学部 比較文化学科				2 (□と★)	210	10	□	現代文①	現代文②		★						□	□			
データサイエンス学部 データサイエンス学科				2 (◇と◇)	210	10	◇	現代文①	現代文②	◇	◇						◇	◇	◇	◇	
短期大学部	家政科	家政総合コース		1 (◆)	110	10	◆	現代文①	現代文②	◆	◆	◆	化学基礎		◆	生物基礎	◆	◆	◆	◆	
		食と栄養コース		2 (□と■)	210	10	□	現代文①	現代文②		□	■	化学基礎		■	生物基礎					

※調査書は、配点10点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×2」で換算、配点5点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」とします。ただしデータサイエンス学部は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」＋「数学の学習成績の状況（数学の評定平均値）×1」とします。「高卒認定」「外国の学校修了」など全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が算出できない場合は、配点の50%で換算します。

☆国語、化学、生物では、出題分野の合計得点を各学科・専攻・コースの配点に換算します。出願する学科等が指定した分野で解答していない分野があった場合は、解答した分野の得点で合格判定を行います。

● 一般選抜A方式Ⅰ期で複数の学科・専攻・コースに出願する場合は、以下の①～⑤にご注意ください。

- ①同日の同時限に行われる試験問題は、全学科・専攻・コースで共通です。
- ②「国語」「化学」「生物」について
 - ・出願する学科・専攻・コースが指定する出題分野をすべて解答してください。
 - ・解答する出題分野の数にかかわらず、試験時間は60分間です。
- ③2/2の1・3時限目の選択科目について
 - ・出願する学科・専攻・コースが指定する科目の中から、いずれか1科目のみ解答してください。
 - ・出願時ではなく、試験日当日、試験問題を見てから解答する科目を決めることができます。
- ④2/1（土）、2/2（日）とも出願する場合は、両日とも試験を受けてください。
- ⑤2/1（土）と2/2（日）の試験問題は異なります。
 - 2/1（土）に受験した科目の得点を2/2（日）の学科・専攻・コースの得点として利用することはできません。
 - また、2/2（日）に受験した科目の得点を2/1（土）の学科・専攻・コースの得点として利用することもできません。

一般選抜 A 方式Ⅰ期・Ⅱ期（個別学力試験）

A方式Ⅱ期 令和7年3月2日（日） 試験時間:60分間（面接以外）

【記号の見方】

●＝必ず受験（必須科目） ▲＝いずれか1科目を必ず受験、出願時ではなく受験時に選択してください。

学部・学科・専攻・コース			時限・科目 (配点)	合格判定に 用いる科目 数と組み合 わせ	満 点	調 査 書 ※	1時限 9:30～10:30		2時限 面 接 11:20～
							国語☆ (100点)		面接◎ (特記のない場合は 50点)
							現代文① 古文 漢文	現代文 ①②	
			被服学科	1(●)	110	10			●
家政学部	児童学 科	児童学専攻	1(▲)+面接(●)	210	10		▲	▲	● (100点)
		児童教育専攻	1(▲)+面接(●)	210	10		▲	▲	● (100点)
	ライフデザイン学科		1(▲)	110	10		▲	▲	
文学部	日本文学科		1(●)	105	5	●			
	英語英文学科		1(●)	110	10			●	
	コミュニケーション文化学科		1(●)	110	10			●	
社会情報学部	社会情 報学 科	社会生活情報学専攻	1(▲)	105	5		▲	▲	
		環境情報学専攻	1(▲)	110	10		▲	▲	
		情報デザイン専攻	1(▲)+面接(●)	160	10		▲	▲	●
人間関係学部	人間 関係 学 科	社会学専攻	1(▲)	105	5		▲	▲	
		社会・臨床心理学専攻	1(▲)	105	5		▲	▲	
	人間福祉学科		1(▲)	110	10		▲	▲	
比較文化学部	比較文化学科		1(▲)	110	10		▲	▲	
データサイエンス学部	データサイエンス学科		1(▲)+面接(●)	160	10		▲	▲	●
短期 大学 部	家政科	家政総合コース	1(▲)	110	10		▲	▲	
		食と栄養コース	1(▲)+面接(●)	210	10		▲	▲	● (100点)

※調査書は、配点10点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×2」で換算、配点5点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」とします。ただしデータサイエンス学部は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」+「数学の学習成績の状況（数学の評定平均値）×1」とします。「高卒認定」「外国の学校修了」など全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が算出できない場合は、配点の50%で換算します。

☆国語では、出題分野の合計得点を各学科・専攻・コースの配点に換算します。出願する学科等が指定した分野で解答していない分野があった場合は、解答した分野の得点で合格判定を行います。

◎面接は、複数の面接担当者で個人面接またはグループ面接を行います。面接では、志望理由、学科・専攻・コースへの適性、基礎学力などを見ます。

※A方式Ⅱ期は単願制です。複数の学科・専攻・コースに出願することはできません。
また、英語資格・検定試験の活用はできません。

面接

学部・学科・専攻・コース	口頭 試験	面接内容
家政学部児童学科児童学専攻	○	教育・保育への関心の高さを問う質問を含む
家政学部児童学科児童教育専攻	○	教育に関する諸問題についての質問を含む
社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻	○	情報とデザイン及び情報とシステムに関する質問を含む
データサイエンス学部データサイエンス学科	○	生活の中でのデータ活用についての質問を含む
短期大学部家政科食と栄養コース	○	専門に必要な基礎知識や食・栄養・健康に関する質問を含む

一般選抜 A 方式 I 期（個別学力試験）

英語資格・検定試験の活用について

英語は一定の基準を満たした資格・検定試験の証明書類（コピー可）を提出した場合、下表のとおり換算します。なお、証明書の有効期限は各英語外部検定試験の実施団体が定める固有の有効期限にかかわらず、そのスコア・等級取得日が高等学校在学中または2022年4月以降であることを成績証明書等で確認できる場合は、その結果を有効なものとし見なします。

※一般選抜A方式Ⅱ期は対象外です。

資格・検定試験	換算割合		証明書類 【出願時に、該当の資格・検定試験における証明書類（コピー可）を提出してください】
	8割換算	10割換算	
CEFR	B1	B2以上	
ケンブリッジ英語検定	140～159	160～	結果ステートメントまたは認定証
実用英語技能検定（S-CBT含む）	2級	準1級以上	合格証書、合格証明書（和文）、英検CSEスコア証明書のいずれか（実用英語技能検定については、不合格のスコアは活用できません） 個人成績表は不可。
GTEC(検定版) Advanced, Basic/ GTEC CBTタイプ☆ ※アセスメント版は除く	930～1,179 (960～1,189)	1,180～ (1,190～)	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE（オフィシャルスコアに限る）
IELTS	4.0～5.0	5.5～	成績証明書（Test Report Form）
TEAP	225～308	309～	成績表（OFFICIAL SCORE REPORT）
TEAP CBT	420～595	600～	成績表（OFFICIAL SCORE REPORT）
TOEFL iBT®◇	42～71	72～	Official Score Reports（公式スコアレポート）、Institutional Score Report または Test Taker Score Report（受験者用控えスコアレポート） インターネットからダウンロードしたTest Taker Score Reportは不可
TOEIC® L&R/TOEIC® S&W★	1,150～1,555	1,560～	Official Score Certificate（公式認定証） またはDigital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）も可

TOEIC and TOEFL iBT are registered trademarks of Educational Testing Service(ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

※文部科学省による「各資格・検定試験CEFRとの対照表」（平成30年3月）のスコアを基準とします。

※ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められています。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われます。（実用英語技能検定については、不合格のスコアは活用できません）

☆GTEC(検定版)・GTEC CBTタイプのスコアについて表内スコアは、2023年4月以降に受験した場合のスコアを表し、（ ）内は2023年3月以前に受験した場合のスコアを表します。

◇TOEFL iBT®で活用できるのはTest Dateスコアのみです。My Best®スコアは活用できません。

★TOEIC® L&R/ TOEIC® S&W については、TOEIC® S&W のスコアを 2.5 倍にしてTOEIC® L&R のスコアと合算した合計点。

● 以下の①～③にご注意ください。

- ①各試験日の「英語」の学力試験も受験した場合は、「英語資格・検定試験の成績」を換算した得点と「英語」の学力試験の成績」を換算した得点のうち、高得点を採用します。
- ②各試験日の「英語」の学力試験を受験しなかった場合は、「英語資格・検定試験の成績」を換算した得点を採用します。
- ③【「英語」が選択科目の学科・専攻・コースのみ】各試験日の「英語」の学力試験を受験しなかった場合も「英語資格・検定試験の成績」を換算した得点も含め、高得点を採用します。

● 英語資格・検定試験のWeb出願時入力注意点

Web出願時、実用英語技能検定（S-CBT含む）は証明書類に記載されている「資格認定日」もしくは「認定日」の年月を入力してください。検定を受けた試験年月ではありませんので注意してください。その他の資格・検定試験は「試験年月」を入力してください。

一般選抜 A 方式 I 期・II 期（個別学力試験）

各科目の出題範囲および出題分野について

国語	「現代の国語」「言語文化」を出題範囲とする。 日本文学科はA方式I期(2/1)およびII期(3/2)は現代文・古文・漢文、A方式I期(2/2)は現代文・古文とする。 比較文化学科はA方式I期(2/1)は現代文・古文、A方式I期(2/2)およびA方式II期(3/2)は現代文のみとする。 その他の学科・専攻・コースは現代文のみを出題分野とする。	
英語	「英語コミュニケーション I・II」「論理・表現 I」を出題範囲とする。	
化学	被服学科、食物学科、 環境情報学専攻、情報デザイン専攻	「化学基礎」「化学（「無機物質の性質」「有機化合物の性質（「高分子化合物」を除く）」）」を出題範囲とする。
	児童学科児童教育専攻、家政科家政総合コース 家政科食と栄養コース	「化学基礎」を出題範囲とする。
生物	被服学科、食物学科、ライフデザイン学科 環境情報学専攻、情報デザイン専攻	「生物基礎」「生物」を出題範囲とする。
	児童学科児童教育専攻、家政科家政総合コース 家政科食と栄養コース	「生物基礎」を出題範囲とする。
日本史	「歴史総合（日本史関連部分）」「日本史探究」を出題範囲とする。	
世界史	「歴史総合（世界史関連部分）」「世界史探究」を出題範囲とする。	
公民	「公共」を出題範囲とする。	
数学	「数学 I」「数学 II」「数学 A（「数学と人間の活動」を除く）」を出題範囲とする。	
情報	「情報 I」を出題範囲とする。	

旧教育課程履修者への経過措置について

令和 7（2025）年度一般選抜 A 方式（個別学力試験）における本学入学志願者のうち、旧教育課程履修者に対する経過措置は次のとおりとします。

新教育課程履修者とは

- ①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和 4 年 4 月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月に卒業見込みの者
- ②中等教育学校の後期課程に令和 4 年 4 月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和 7 年 3 月卒業見込みの者

旧教育課程履修者とは

上記以外の者

- * 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第 3 学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和 7 年 3 月卒業見込みであるが入学は令和 4 年 3 月以前の者など上記に該当しない者

国語、英語、日本史、世界史は旧課程履修者に不利とならないよう配慮して出題します。ただし新教育課程の科目固有の範囲から出題する問題がある場合は、旧教育課程の科目の範囲から出題する問題を用意し、旧教育課程履修者はいずれかを選択できるようにします。その場合、新教育課程履修者は、旧教育課程の科目から出題される問題を選択解答することはできません。

ただし公民、情報については新教育課程の科目の範囲を出題範囲とし、旧教育課程履修者の受験に不利とならないよう選択科目とします。なお公民、情報を旧教育課程履修者が解答した場合は、採点を行います。

化学：「化学基礎」「化学（「無機物質の性質と利用」「有機化合物の性質と利用）」」を出題範囲とします。

生物：「生物基礎」「生物」を出題範囲とします。 ※「生物の進化と系統」は出題範囲とします。

数学：「数学 I」「数学 II」「数学 A」を出題範囲とします。

試験当日の注意事項

1. Web 受験票（詳細は 29 ページ参照）

- (1) 必ず持参してください。万一 Web 受験票を忘れた場合は、係員に申し出て再発行を受けてください。
- (2) [A 方式Ⅰ期のみ] 試験室の座席案内、解答用紙への記入は「当日番号」を使用します。（30 ページ「A 方式 Web 受験票見本」参照）

2. 集合時間

午前 8 時 10 分に試験場を開場します。受験する時限の試験開始 20 分前まで（下表参照）に所定の試験室に入室し、試験監督者の指示に従ってください。

試験開始 20 分前から試験の説明・問題冊子等の配付を行います。

交通状況を考えて早めに行動してください。

	試験場の 開場時間	集合時間（試験開始 20 分前）		
		1 時限目	2 時限目	3 時限目
A 方式Ⅰ期 2/1	8:10	9:10 まで	11:00 まで	13:10 まで
2/2				
A 方式Ⅱ期 3/2			－	－

※試験室への入室開始は、各時限とも放送でお知らせします。

※[A 方式Ⅰ期のみ]2 時限目から受験する方は 10:50 まで、3 時限目から受験する方は 12:40 までは試験場内の控室などで待機していただきます。

3. 遅刻

遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。試験開始から 30 分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長はしません。公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合は、集合時間までに広報・入試センター（千代田・tel.03-5275-0404）に連絡してください。なお、災害や事故などにより試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験時間を繰り下げることがあります。34 ページ Q10 もあわせて確認してください。

4. 入退出

- (1) 各時限の集合時間（試験開始 20 分前）から試験終了時刻までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の試験室からの退室は認めません。
- (2) 各時限とも、試験開始から終了時刻までは、退場（受験放棄）できません。
- (3) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等（スマートウォッチやスマートグラス等）の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。
- (4) [A 方式Ⅰ期（2/1・2/2）] 昼食時（12:20～13:10）は、試験場内で昼食をとることができます。
[A 方式Ⅱ期（3/2）] 面接を受験する場合、控室で昼食をとることができます。

※面接開始時間は受験者によっては 14:00 頃になる場合もあります。

試験場外に出ることもできますが、外出する時は必ず受験票を携帯し、再入場時に入口で提示してください。

次の試験時間に間に合うよう、時間に余裕をもって行動してください。

5. 持ち物

解答には必ず H B の黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴムを使用してください。

その他、試験時間中に使用できる用具、使用できない用具、使用に許可が必要な用具は下記のとおりです。

使用できる用具	鉛筆削り（電動式不可）、鉛筆キャップ、時計（時刻だけを表示するものに限る。アラーム機能は、入室前に設定を解除すること。学習タイマー不可。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）、目薬
使用できない用具	定規、下敷き、電卓、耳せん、辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、タブレット端末、電子辞書、ICレコーダー、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
試験監督者の許可が必要な用具	使い捨てカイロ、ひざかけ（上着等の代用含む）

試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計（時刻だけを表示するものに限る）を持参してください。

6. 不正行為

以下の行為は不正行為となることがあります。

- ① 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ② カンニングをすること。
- ③ 使用を認められていない用具をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ④ 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身に付けたり、操作したりすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等を持ち込むこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。不正行為の疑いがある場合、試験監督者による事情聴取、別室受験、退出等を求めることもあります。不正行為が認められた場合、それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験もすべて無効となり、入学資格を失います。なお、不正行為については、状況により警察へ被害届を出すなどの対応をとる場合があります。

一般選抜 A 方式 I 期・II 期（個別学力試験）

7. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

8. その他

- (1) 試験室を間違えて受験した場合は、解答を採点できない場合があります。
- (2) 本学近辺で合否連絡の受付・勧誘・印刷物の配布を行う者があっても、本学とは一切関係がありません。発生した事故については、本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。
- (3) 生活騒音（自動車、風雨、空調音、くしゃみ等）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。

一般選抜 A 方式 I 期・II 期（個別学力試験）

試験場（千代田キャンパス）

1. 全学科・専攻・コースとも千代田キャンパスで実施します。試験場を間違えた場合は、受験することができません。事前に募集要項・本学ホームページで試験場をよく確認してください。試験場の建物名は、試験日の3日前に本学ホームページ（トップページ＞トピックス 一般選抜のお知らせ）で発表します。
2. 駐車場・駐輪場はありません。公共の交通機関をご利用ください。あらかじめ試験場への経路、所要時間等を確認し、当日は早めに到着するよう心がけてください。
3. 上履きは不要です。
4. 試験当日は食堂の営業はありません。
5. 試験場（構内）の下見について
キャンパス見学可能日は、本学ホームページの「入試・入学」のページに随時掲載予定です。なお、日曜日・祝日、年末年始、学校記念日（11月20日）、入学試験の前日・当日、在学生の補講・試験期間、オープンキャンパス前日は見学できません。

千代田キャンパス 一般選抜 A 方式（I・II期）…全学科・専攻・コース



入学者選抜の基本方針（一般選抜 A 方式、B 方式共通）

13 ページをご確認ください。

選考方法

1. 令和 7 年度大学入学共通テストの成績と、調査書等を総合して可否を判定します（本学での学力試験は行いません）。
2. 事前に大学入試センターに出願し、令和 7 年度大学入学共通テストを受験してください。
 なお、志望学科・専攻・コースが指定した試験科目（23～25 ページ参照）を必ず受験してください。試験科目のうち、1 科目でも未受験の科目がある場合は、不合格とします。各学科・専攻・コースが指定した選択科目を必要科目数以上受験した場合は、高得点の科目で判定します。
 また、「英語資格・検定の成績」を提出した場合、それを換算した得点と「大学入学共通テストの英語の成績」を換算した得点のうち、高得点を採用します。

<出願書類の活用方法について>

調査書、その他の出願書類等のうち、調査書は「学力の 3 要素」を多面的・総合的に評価するため「全体の学習成績の状況」を点数化し活用します（データサイエンス学部は「数学の学習成績の状況」も点数化し活用）。その他の出願書類等は点数化せず入学後の資料として活用します。

選考日程

一般選抜 B 方式 I 期

学部等	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
家政学部	令和 7 年 1 月 6 日（月） ） 1 月 22 日（水） 郵送・当日消印有効	（ 令和 7 年度 大学入学共通テスト ） 令和 7 年 1 月 18 日（土）、1 月 19 日（日） ※本学での学力試験は 行いません	令和 7 年 2 月 8 日（土） 14:00 ～	令和 7 年 2 月 15 日（土）★
文学部				
社会情報学部				
人間関係学部				
比較文化学部				
データサイエンス学部				
短期大学部				

★B方式I期の入学手続時納入金は一括納入または分割納入(2段階方式)を選択することができます。分割納入の場合、まず入学金を入学手続締切日 2/15(土)までに納入してください。その後、入学金以外の納入金を2/26(水)までに納入してください。追加合格の場合は一括納入のみとなります。納入方法などの詳細は合格者に交付する「入学手続の手引」でご確認ください。
 入学手続締切日は土曜日となり、金融機関によって窓口での振込みを取り扱わない場合がありますのでご注意ください。

一般選抜 B 方式 II 期

学部等	出願期間	試験日	合格発表日	入学手続締切日
家政学部	令和 7 年 2 月 6 日（木） ） 2 月 20 日（木） 郵送・当日消印有効	（ 令和 7 年度 大学入学共通テスト ） 令和 7 年 1 月 18 日（土）、1 月 19 日（日） ※本学での学力試験は 行いません	令和 7 年 3 月 6 日（木） 14:00 ～	令和 7 年 3 月 13 日（木）
児童学科児童教育専攻				
ライフデザイン学科				
文学部				
社会情報学部				
人間関係学部				
比較文化学部				
データサイエンス学部				
短期大学部				

一般選抜 B 方式 I 期・II 期（大学入学共通テスト利用）

試験科目

大学 2 科目型					試験科目（新教育課程による出題科目）					配点	調査書	満点	I 期	II 期
学部・学科・専攻														
家政学部	被服学科				『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					200				
					『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から1科目					200	10	410	○	－
	児童学科	児童学専攻			『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					200				
		児童教育専攻			『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					200	10	410	○	－
	ライフデザイン学科				『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					200				
文学部	日本文学科				『国語』					200				
	英語英文学科				『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『英語』『情報Ⅰ』から1科目					100	5	305	○	○
	コミュニケーション文化学科				『英語』					300				
					『国語（近代以降の文章）』『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学Ⅰ、数学Ⅱ』『数学Ⅲ』『情報Ⅰ』から1科目					200	10	410	○	○
社会情報学部	社会情報学科	環境情報学専攻			『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					200				
		情報デザイン専攻			『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1 『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Ⅳ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から1科目					200	10	410	○	○
	人間関係学科	社会学専攻			『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					200				
		社会・臨床心理学専攻			『国語（近代以降の文章）』『英語』『数学』から2科目 ただし、数学を選択する場合は、『数学Ⅰ、数学Ⅱ』『数学Ⅲ』からいずれか1科目（1科目100点）					100 200	10	210	○	○
比較文化学部	人間福祉学科				『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目					100				
	比較文化学科				『英語』『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目					100	10	210	○	○
	データサイエンス学部				『国語（近代以降の文章と古文）』『英語』『地理歴史・公民』から2科目 ただし、地理歴史・公民を選択する場合は、『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1 『公共、政治・経済』からいずれか1科目（200点）					400	10	410	○	－
	データサイエンス学科				『国語（近代以降の文章）』『英語』『数学』から2科目 ただし、数学を選択する場合は、『数学Ⅰ、数学Ⅱ』『数学Ⅲ』『数学Ⅳ、数学Ⅴ、数学Ⅵ』からいずれか1科目（1科目100点）					200	10	210	○	○

大学3科目型			試験科目（新教育課程による出題科目）										配点	調査書	満点	I期	II期		
学部・学科・専攻																			
家政学部	被服学科		『国語（近代以降の文章）』『英語』『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から3科目（1科目200点）										600	10	610	○	－		
	食物学科	食物学専攻	『国語（近代以降の文章）』										200	10	610	○	－		
		管理栄養士専攻	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『化学』『生物』から1科目										200						
				『英語』										200					
文学部	児童学科	児童教育専攻	『国語（近代以降の文章）』										200	10	610	○	－		
			『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2										200						
				『英語』										200					
	日本文学科		『国語』										200	5	405	○	－		
		『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』『情報Ⅰ』から1科目										100							
				『英語』										100					
英語英文学科		『国語（近代以降の文章）』										300	10	510	○	－			
	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目										100								
社会情報学部	コミュニケーション文化学科		『英語』										200	10	510	○	－		
	『国語（近代以降の文章）』										200								
				『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から1科目										100					
		社会生活情報学専攻	『国語（近代以降の文章）』										200	10	610	○	○		
			『英語』										200						
				『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から1科目										200					
社会情報学科	環境情報学専攻	『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目										200	10	610	○	－			
		『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ』『数学Ⅳ』『数学Ⅴ』『数学Ⅵ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から2科目（1科目200点）										400							
				『国語（近代以降の文章）』『英語』から1科目										200	10	610	○	－	
	『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ』『数学Ⅳ』『数学Ⅴ』『数学Ⅵ』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から2科目（1科目200点）										400								
人間関係学部	社会学専攻	『国語（近代以降の文章）』										100	10	310	○	－			
		『英語』										100							
	人間関係学科		『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目										100						
					『国語（近代以降の文章）』										200	10	610	○	－
『英語』										200									
比較文化学部	比較文化学科	『国語（近代以降の文章と古文）』										200	10	610	○	○			
		『英語』										200							
			『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』から1科目										200						
			『数学Ⅰ、数学Ⅱ』『数学Ⅲ』『数学Ⅳ、数学Ⅴ、数学Ⅵ』から1科目										200						
データサイエンス学部	データサイエンス学科	『国語（近代以降の文章）』『英語』『歴史総合、世界史探究』『歴史総合、日本史探究』『地理総合、地理探究』『地理総合／歴史総合／公共』※1『公共、倫理』『公共、政治・経済』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※2『物理』『化学』『生物』『地学』『情報Ⅰ』から2科目（1科目200点）										400	10	610	○	－			
												200							

一般選抜 B 方式 I 期・II 期（大学入学共通テスト利用）

試験科目

短期大学部								
学科・コース			試験科目（新教育課程、旧教育課程による出題科目）	配点	調査書	満点	I 期	II 期
短 期 大学部	家政科	家政総合コース	『国語（近代以降の文章）』『英語（リスニングを除く）』から1科目	200	10	210	○	○
		食と栄養コース	『国語（近代以降の文章）』『英語（リスニングを除く）』『化学基礎／生物基礎』『化学』『生物』から1科目	200	10	210	○	○

※1 『地理総合／歴史総合／公共』は2出題範囲を選択解答してください。
※2 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は2出題範囲を選択解答してください。

旧教育課程履修者への経過措置について

令和7（2025）年度一般選抜B方式（大学入学共通テスト利用）における本学入学志願者のうち、旧教育課程履修者は経過措置として新教育課程による出題科目に代えて、旧教育課程による出題科目（経過措置科目）を選択できることとし、いずれを受験した場合も、同様の科目の得点として利用します。

新教育課程履修者とは

①高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和4年4月以降に入学し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月に卒業見込みの者

②中等教育学校の後期課程に令和4年4月以降に進級し、平成30年告示学習指導要領に基づく教育課程の下で学び、令和7年3月卒業見込みの者

旧教育課程履修者とは

上記以外の者

* 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第3学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込み者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和7年3月卒業見込みであるが入学は令和4年3月以前の者など上記に該当しない者

試験科目

大学2科目型			※試験科目名に「旧」がついている科目が経過措置科目					
学部・学科・専攻			試験科目（経過措置、旧教育課程履修者）	配点	調査書	満点	I 期	II 期
家政学部	被服学科		「国語（近代以降の文章）」「英語」から1科目 「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」※2「物理」「化学」「生物」「地学」「旧情報」から1科目	200 200	10	410	○	－
	児童学科		「国語（近代以降の文章）」 「英語」	200 200				
	児童学専攻		「国語（近代以降の文章）」 「英語」	200 200	10	410	○	－
	児童教育専攻		「国語（近代以降の文章）」 「英語」「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」※2から1科目	200 200				
	ライフデザイン学科		「国語（近代以降の文章）」「英語」から1科目 「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」「物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎」※2から1科目	200 200	10	410	○	○
	日本文学科		「国語」 「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」「英語」「旧情報」から1科目	200 100				
文学部	英語英文学科		「英語」 「国語（近代以降の文章）」「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」から1科目	300 150	10	460	○	○
	コミュニケーション文化学科		「英語」 「国語（近代以降の文章）」「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅲ」「旧数学Ⅳ」「旧数学Ⅴ」「旧数学Ⅵ」「旧数学Ⅶ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅸ」「旧数学Ⅹ」から1科目	200 200				
	社会情報学部		「国語（近代以降の文章）」「英語」から1科目 「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅲ」「旧数学Ⅳ」「旧数学Ⅴ」「旧数学Ⅵ」「旧数学Ⅶ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅸ」「旧数学Ⅹ」から1科目	200 200	10	410	○	○
	社会情報学科		「国語（近代以降の文章）」「英語」から1科目 「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅲ」「旧数学Ⅳ」「旧数学Ⅴ」「旧数学Ⅵ」「旧数学Ⅶ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅸ」「旧数学Ⅹ」から1科目	200 200				
人間関係学部	人間関係学科		「国語（近代以降の文章）」 「英語」	100 100	10	210	○	○
	社会学専攻		「国語（近代以降の文章）」 「英語」	100 100				
	人間福祉学科		「国語（近代以降の文章）」 「英語」「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」から1科目	100 100	10	210	○	○
	比較文化学部		「国語（近代以降の文章と古文）」「英語」「地理歴史・公民」から2科目 ただし地理歴史・公民を選択する場合は、「旧世界史 B」「旧日本史 B」「旧地理 B」「旧現代社会」「旧倫理」「旧政治・経済」「旧倫理、旧政治・経済」からいずれか1科目（1科目200点）	400				
データサイエンス学部	データサイエンス学科		「国語（近代以降の文章）」「英語」「数学」から2科目 ただし数学を選択する場合は「旧数学Ⅰ」「旧数学Ⅱ」「旧数学Ⅲ」「旧数学Ⅳ」「旧数学Ⅴ」「旧数学Ⅵ」「旧数学Ⅶ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅷ」「旧数学Ⅸ」「旧数学Ⅹ」からいずれか1科目（1科目100点）	200	10	210	○	○

一般選抜 B 方式 I 期・II 期（大学入学共通テスト利用）

試験科目

大学 3 科目型												
学部・学科・専攻			試験科目（経過措置、旧教育課程履修者）					配点	調査書	満点	I 期	II 期
家政学部	被服学科		『国語（近代以降の文章）』『英語』『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』『旧数学 I』『旧数学 I・旧数学 A』『旧数学 II』『旧数学 II・旧数学 B』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ 2『物理』『化学』『生物』『地学』『旧情報』から 3 科目（1 科目 200 点）					600	10	610	○	－
	食物学科	食物学専攻 管理栄養士専攻	『国語（近代以降の文章）』					200	10	610	○	－
			『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ 2『化学』『生物』から 1 科目					200				
				『英語』					200			
文学部	日本文学科		『国語（近代以降の文章）』					200	5	405	○	－
			『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』『旧情報』から 1 科目					100				
	英語英文学科		『英語』					100	10	510	○	－
			『国語（近代以降の文章）』					100				
			『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』から 1 科目					100				
	コミュニケーション文化学科		『英語』					200	10	510	○	－
『国語（近代以降の文章）』					200							
『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』『旧数学 I』『旧数学 I・旧数学 A』『旧情報』から 1 科目					100							
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	『国語（近代以降の文章）』					200	10	610	○	○
			『英語』					200				
			『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』『旧数学 I』『旧数学 I・旧数学 A』『旧数学 II』『旧数学 II・旧数学 B』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ 2『物理』『化学』『生物』『地学』『旧情報』から 1 科目					200				
		環境情報学専攻	『国語（近代以降の文章）』『英語』から 1 科目					200	10	610	○	－
			『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧数学 I』『旧数学 I・旧数学 A』『旧数学 II』『旧数学 II・旧数学 B』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ 2『物理』『化学』『生物』『地学』『旧情報』から 2 科目（1 科目 200 点）					400				
					『国語（近代以降の文章）』『英語』から 1 科目					200	10	610
『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧数学 I』『旧数学 I・旧数学 A』『旧数学 II』『旧数学 II・旧数学 B』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ 2『物理』『化学』『生物』『地学』『旧情報』から 2 科目（1 科目 200 点）					400							
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	『国語（近代以降の文章）』					100	10	310	○	－
			『英語』					100				
		社会・臨床心理学専攻	『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』から 1 科目					100	10	610	○	－
			『国語（近代以降の文章）』					200				
比較文化学部	比較文化学科		『英語』					200	10	610	○	○
			『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧地理 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』から 1 科目					200				
								200				
								200				
データサイエンス学部	データサイエンス学科		『旧数学 I』『旧数学 I・旧数学 A』『旧数学 II』『旧数学 II・旧数学 B』から 1 科目					200	10	610	○	－
			『国語（近代以降の文章）』『英語』『旧世界史 B』『旧日本史 B』『旧現代社会』『旧倫理』『旧政治・経済』『旧倫理、旧政治・経済』『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』※ 2『物理』『化学』『生物』『地学』『旧情報』から 1 科目					400				
短期大学部												
学科・コース			試験科目（新教育課程、旧教育課程による出題科目）					配点	調査書	満点	I 期	II 期
短期大学部	家政科	家政総合コース	『国語（近代以降の文章）』『英語（リスニングを除く）』から 1 科目					200	10	210	○	○
		食と栄養コース	『国語（近代以降の文章）』『英語（リスニングを除く）』『化学基礎／生物基礎』『化学』『生物』から 1 科目					200	10	210	○	○

※2『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は2出題範囲を選択解答してください。

I 期、II 期共通事項

●調査書について

■調査書は、配点10点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×2」で換算、配点5点の場合は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」とします。ただしデータサイエンス学部は「全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）×1」＋「数学の学習成績の状況（数学の評定平均値）×1」とします。

「高卒認定」「外国の学校修了」など全体の学習成績の状況（全体の評定平均値）が算出できない場合は、配点の50%で換算します。

●成績換算について

令和7年度大学入学共通テストの成績を本学一般選抜B方式（大学共通テスト利用）I 期・II 期の各学科・専攻・コースの配点に換算します。※令和6年度以前の試験の成績を利用することはできません。

国語は各学科・専攻・コースが指定した出題分野の合計得点を、各学科・専攻・コースの配点に換算します。

英語はリーディングとリスニングの合計得点を、各学科・専攻の配点に換算します。（短期大学部家政科はリスニングを除く）

一般選抜 B 方式 I 期・II 期（大学入学共通テスト利用）

●英語について

- 「英語」を選択する方は、リーディングとリスニングを両方解答してください（短期大学部家政科を除く）。
- 英語のリスニング免除者は、大学入学共通テストの英語（リーディング）の得点を、本学各学科・専攻の英語の満点に換算します。
- 英語のリスニングのみ未受験（またはリーディングのみ未受験）者は時限欠席（科目未受験）者とはせず、リスニング部分（またはリーディング部分）を0点として扱い、合否の判定対象とします。リスニング免除者が英語（リーディング）を受験しなかった場合は、時限欠席者とはせず、英語全体の得点を0点として合否の判定対象とします。

英語資格・検定試験の活用について	英語は一定の基準を満たした資格・検定試験の証明書類（コピー可）を提出した場合、下表のとおり換算します。大学入学共通テストの英語も受験した場合は、「英語資格・検定試験の成績」を換算した得点と「大学入学共通テストの英語の成績」を換算した得点のうち、高得点を採用します。 なお、証明書の有効期限は各英語外部検定試験の実施団体が定める固有の有効期限にかかわらず、そのスコア・等級取得日が高等学校在学中または2022年4月以降であることを成績証明書等で確認できる場合は、その結果を有効なものとし見なします。		
	資格・検定試験	換算割合	
		8割換算	10割換算
	CEFR	B1	B2以上
	ケンブリッジ英語検定	140～159	160～
	実用英語技能検定（S-CBT含む）	2級	準1級以上
	GTEC(検定版) Advanced, Basic／ GTEC CBTタイプ☆ ※アセスメント版は除く	930～1,179 (960～1,189)	1,180～ (1,190～)
	IELTS	4.0～5.0	5.5～
	TEAP	225～308	309～
	TEAP CBT	420～595	600～
	TOEFL iBT®◇	42～71	72～
	TOEIC® L&R/TOEIC® S&W★	1,150～1,555	1,560～
※文部科学省による「各資格・検定試験CEFRとの対照表」（平成30年3月）のスコアを基準とします。 ※ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められています。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われます。（実用英語技能検定については、不合格のスコアは活用できません） ☆GTEC(検定版)・GTEC CBTタイプのスコアについて表内スコアは、2023年4月以降に受験した場合のスコアを表し、（ ）内は2023年3月以前に受験した場合のスコアを表します。 ◇TOEFL iBT®で活用できるのはTest Dateスコアのみです。My Best®スコアは活用できません。 ★TOEIC® L&R/ TOEIC® S&W については、TOEIC® S&W のスコアを 2.5 倍にしてTOEIC® L&R のスコアと合算した合計点。			

●英語資格・検定試験のWeb出願時入力注意点

- Web出願時、実用英語技能検定（S-CBT含む）は証明書類に記載されている「資格認定日」もしくは「認定日」の年月を入力してください。検定を受けた試験年月ではありませんので注意してください。その他の資格・検定試験は「試験年月」を入力してください。

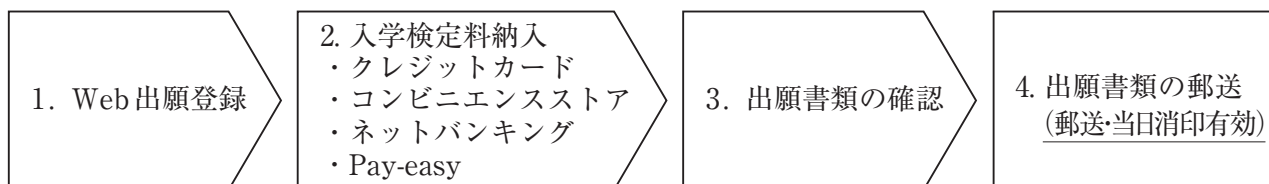
出願手続

出願の流れ（詳細は28ページ参照）

入学検定料納入期間・出願期間内に次の出願手続がすべて完了するようにしてください。

入試種別・方式	入学検定料納入期間・出願期間
A方式Ⅰ期	令和7年1月6日（月）～1月20日（月）
B方式Ⅰ期	令和7年1月6日（月）～1月22日（水）
A方式Ⅱ期	令和7年2月6日（木）～2月19日（水）
B方式Ⅱ期	令和7年2月6日（木）～2月20日（木）

※Web出願登録は、入試・期別ごとに¹出願締切日の23時で締め切ります。



・外国の高等学校修了者（在外教育施設を除く）、インターナショナルスクール修了者は、出願手続をする前に広報・入試センター（千代田）に申し出てください。

入学検定料と割引制度

入試種別・方式	入学検定料および割引内容
A方式Ⅰ期	1学科・専攻・コース35,000円です。2学科・専攻・コース目から1学科・専攻・コースにつき5,000円になります。なお、家政学部ライフデザイン学科、文学部、社会情報学部、人間関係学部、比較文化学部、データサイエンス学部、短期大学部において同じ学科・専攻・コースを2日間とも受験する場合は「2学科・専攻・コース分」の検定料金になります。
A方式Ⅱ期	35,000円です。1学科・専攻・コースのみ出願できる入試方式のため、割引制度はありません。
B方式Ⅰ期	1学科・専攻・コース15,000円です。2学科・専攻・コース目から1学科・専攻・コースにつき5,000円になります。
B方式Ⅱ期	

- 【A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期・Ⅱ期】1回のWeb出願登録ごとの割引制度適用となります。
- 割引制度は、Ⅰ期・Ⅱ期、A方式・B方式それぞれ別々の適用となります。
- 入学検定料納入後や出願書類郵送後に、さらに同じ入試方式内で追加出願する場合でも、前回と合わせての割引になりません。再度出願手続が必要となります。
- 大規模自然災害で被災された方には、入学検定料等の免除・減免制度があります（40ページ参照）。

出願手続

1. Web出願登録

本学ホームページからWeb出願サイト（<https://sak-sak.net/app/owu/>）にアクセスしてください。

本学ホームページ→入試・入学→出願・面接日・合格発表→Web出願

《手順》

- ① 画面の案内に従って、試験情報、志願者情報、アンケートを入力する。
- ② 任意のユーザID、パスワードを入力し、ユーザ登録をおこなう。
- ③ 入学検定料の支払方法を選択する。
- ④ [クレジットカード]でお支払いの場合、支払手続をおこない「出願登録受付および入金完了メール」を受け取る。
[クレジットカード以外]でお支払いの場合、「出願登録受付メール」を受け取る。その後、支払手続をおこない「入金完了メール」を受け取る。

【自然災害に係る特別措置対象の方】「現金(コンビニエンスストア、Pay-easy)お支払い方法」を選択し、入学検定料納入前に、広報・入試センター(千代田)へ必ずご連絡ください(40ページ参照)。

⑤ 入学検定料納入後に、[出願確認票]と[宛名ラベル]を印刷する。

※ユーザID、パスワードは、A方式Ⅰ・Ⅱ期のWeb受験票の確認（29ページ参照）で使用するので、大切に保管しておいてください。大学に問い合わせ確認することはできません。

※**入学検定料納入後でないと、⑤は行えません。**

※入学検定料納入後は登録のやりなおしはできません。出願登録内容をよく確認のうえ、納入してください。

※各種メールが届くまでに、最長2時間程度かかります。

※Web出願登録は、入試・期別ごとに出願締切日の23時で締め切ります。

※Web出願時に自己申告方式によるチェックリストを提出していただき、「主体性・多様性・協働性」を評価します（可否判定には用いません）。

2. 入学検定料の納入

入学検定料は次の方法で納入できます。

支払方法		支払機関
クレジットカード		Mastercard、VISA
コンビニエンスストア		セイコーマート、セブン-イレブン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート、ミニストップ、ローソン
銀行	ネットバンキング	住信SBIネット銀行、PayPay銀行、楽天銀行、Pay-easy
	ATM	Pay-easy

※入学検定料の他に手数料が必要です。

※コンビニエンスストアおよびPay-easy(ATM)で納入後は、領収書・明細書等を受け取り、各自で保管してください。

3. 出願書類の確認

[1. 出願確認票]

上記 **1. Web出願登録** ⑤で印刷した用紙。

[2. 調査書等] (出願日から遡って3か月以内に作成した最新のもの。要厳封)

11ページの「出願要件を証明する書類等」欄を参照し、郵送1回につき必要書類を1通提出してください（複数学科・専攻・コースへ出願する場合や、A・B方式両方に出願する場合でも1通で可）。ただし、すでに出願書類を提出し、その後追加で出願する場合は改めて出願確認票と調査書の提出が必要です。

調査書が発行されない場合（卒業後年数がたっていて指導要録の保存期間が経過している場合、廃校・被災等）は、代わりに成績証明書（単位修得証明書）と卒業証明書を提出してください。

成績証明書(単位修得証明書)と卒業証明書を提出できない場合は、広報・入試センター(千代田)にお問い合わせください。

[3. 顔写真] [A方式Ⅰ期・Ⅱ期]

たて4cmよこ3cm、上半身正面、3か月以内撮影、全面のり付、白黒・カラーともに可。写真の裏に氏名・生年月日を記入し、「出願確認票」の所定欄に貼り付けてください。

[4. 大学入学共通テスト成績請求票] [B方式Ⅰ期・Ⅱ期]

大学入試センターから交付された、令和7共通テスト成績請求票のうち「私立大学・公私立短期大学用」を「出願確認票」の所定欄に貼り付けてください。上記の請求票以外は不備になります。

[5. 英語資格・検定試験の証明書類] [A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期・Ⅱ期]

英語資格・検定試験を活用する場合は、該当の証明書類（コピー可）を提出してください。基準および証明書類は17・26ページで確認してください。なお、Web出願完了後に英語資格・検定試験の活用の有無を変更することはできません。また証明書類を差し替えることもできません。

[6. その他]

改姓などにより、「出願確認票」と調査書の氏名が異なる場合は、同一人物のものであることを証明する書類〔旧姓と新姓の両方が記載されている住民票や戸籍抄本等。個人番号（マイナンバー）の記載がないもの〕を提出してください。

4. 出願書類の郵送

上記 **1. Web出願登録** ⑤で印刷した「宛名ラベル」を市販の封筒（角2型）に貼付し、**3. 出願書類の確認**で示した書類を入れ、簡易書留速達で郵送してください。

※出願書類の送付をもって出願完了となります。なお、出願完了のメールは届きません。

送付先 〒102-8799 日本郵便（株）麹町郵便局留 大妻女子大学入学願書受付係

出願上の注意事項

1. 入学検定料未納または出願書類未提出の場合、出願受付できません。
2. 出願書類に不備がある場合は、受付できないことがありますので注意してください。また、出願書類等に関する本学からの連絡には、速やかにその指示に従ってください。
3. 出願後に、学科・専攻・コース、試験日の変更はできません。
4. A 方式 I 期、B 方式 I 期・II 期において出願後に、英語資格・検定試験の活用の有無、もしくは種類・スコア等の変更はできません。各種証明書の発行には時間がかかる場合がありますので、余裕をもって手続きをしてください。
5. 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、受験を無効とし、入学を取り消すことがあります。
6. 入学検定料および出願書類は、原則として返還しません。
7. A 方式の選択必須科目および選択科目は、受験時に選択してください。
8. Web上からのみ出願できます。自宅にインターネット環境がない場合は、学校等のパソコンを利用してください。

障がい等のある方への受験・修学上の配慮について

入試種別	申出締切
一般選抜 A 方式、B 方式	令和 6 年 12 月 4 日（水）

疾病・負傷や障がい等のため、受験上および修学上、特別な配慮を希望する場合は、申出締切日までに、必ず広報・入試センター入試グループ（千代田）までご相談ください。また、それ以降に事故で負傷した方等についても、同様に配慮することがありますので、速やかに本学に申し出てください。

なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただきます。

受験・修学上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

【連絡先】 広報・入試センター入試グループ（千代田） tel. 03-5275-0404

Web受験票の確認

A 方式

Web出願サイトの出願状況確認ページより確認、印刷してください。

B 方式

Webを利用した受験番号照会システムにより受験番号を確認してください。

※本学から紙の受験票は発送しません。

A 方 式	①Web 受験票ダウンロード期間 A方式 I 期：令和7年1月24日（金）9時～2月13日（木）17時 A方式 II 期：令和7年2月23日（日）9時～3月13日（木）17時 30ページの確認方法に従い受験票をダウンロードし、記載事項を確認してください。また受験票はA4サイズで印刷し、<u>試験当日必ず持参してください。</u> [A 方式 I 期] 複数出願者：試験日ごとに1枚の受験票を発行します。	②出願登録内容と受験票の記載内容に誤りがあった場合 次の日時までに、至急広報・入試センター（千代田）にご連絡ください。 A 方式 I 期：令和7年1月27日（月）10時まで B 方式 I 期：令和7年1月29日（水）10時まで A 方式 II 期：令和7年2月26日（水）10時まで B 方式 II 期：令和7年2月28日（金）10時まで
B 方 式	① Web 受験票の確認期間 B方式 I 期：令和7年1月27日（月）9時～2月15日（土）17時 B方式 II 期：令和7年2月25日（火）9時～3月13日（木）17時 31ページの確認方法に従い、受験番号を確認してください。	

【B方式 Web受験票確認方法】

1

Web受験番号照会システムにアクセス

Web受験票確認期間に、以下のURLにアクセスする。

Web 受験番号照会システム URL

パソコン・スマートフォン

<https://sak-sak.net/app/ref/owu/>



2

Web受験番号照会システムにログイン

Web受験番号照会システムのトップ画面にある入力欄に「令和7共通テスト成績請求票」に記載されている番号（英数字12桁）および生年月日（8桁）を入力する。

※「令和7共通テスト成績請求票」に記載されている番号が「200411-1001X-1」の場合は「2004111001X1」
※生年月日が2006年2月8日の場合は「20060208」

大学入学共通テスト成績請求番号	〇〇〇〇〇〇-〇〇〇〇〇〇-〇
生年月日（西暦）	〇〇〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日

受験番号確認

3

受験番号を確認

サイト上に表示された受験番号を確認する。

※確認した受験番号は大切に保管しておいてください。合否照会や各種お問い合わせに受験番号が必要になります。

大学入学共通テスト成績請求番号 200411-1001X-1 〇〇〇〇さん

〈一般選抜B方式〉

志望先	受験番号
文学部日本文学科	1210-10030
比較文化学部比較文化学科	1511-10025

戻る

※画像はイメージのため、実際とは異なる場合があります。

〈注意事項〉

1. 利用時間は入試種別・入試方式ごとに定めてあり、期間外に見ることはできません。
2. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末から確認ができます。
3. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合は、ブラウザを調整してください。
4. 使用機種の性能やインターネットの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

合格発表

1. 発表期間

入試種別・方式	学部	発表期間
A方式Ⅰ期	全学部	令和7年2月6日(木)14:00～2月13日(木)15:00
B方式Ⅰ期	全学部	令和7年2月8日(土)14:00～2月15日(土)15:00
A方式Ⅱ期	全学部	令和7年3月6日(木)14:00～3月13日(木)15:00
B方式Ⅱ期	全学部	令和7年3月6日(木)14:00～3月13日(木)15:00

2. 発表の方法

- (1) Webを利用した合否照会システムにより行います。大学構内での掲示は行いません。
[B方式を受験した方] **必ず事前にWebによる受験番号照会をしてから**、合否照会システムを利用してください。
- (2) 合格者には、合格発表日に合格通知書および入学手続き書類を郵送します。手元に届くのは多くの場合、合格発表日の翌日以降となります。なお、A方式Ⅰ期、B方式Ⅰ期・Ⅱ期においてそれぞれ複数学科・専攻・コースに出願し、各学科・専攻・コースでの合否判定の結果、合格となった方には、それぞれの学科・専攻・コースの合格通知書を送ります。

一般選抜A方式Ⅰ期で、同じ学科・専攻・コースを2日間とも受験された方へ

学科・専攻・コースごとに2日間の受験者全員を一緒にして合否を判定しますので、同じ学科・専攻・コースを2日間とも受験し、両日とも得点が合格ラインを上回った場合は、2通の合格通知書および入学手続き書類を送付します。

3. 注意事項

- (1) 補欠合格者は発表していません。追加合格については、33ページを参照してください。
- (2) 合格通知書の未着、合否照会システムの誤操作等を理由とした入学手続き期間の延長は認めません。
- (3) 電話等による合否結果の問い合わせには応じません。

〈操作ガイド〉

合否照会システム URL

パソコン・スマートフォン

<https://sak-sak.net/app/pass/owu/>



〈確認方法〉 ※下図はイメージ

- ① 合否照会システム URL にアクセスする。
- ② **受験番号9ケタ** (半角) と、**生年月日8ケタ** (半角) を入力する。

受験番号はハイフン ` - ` を除く。

※生年月日が2006年2月8日の場合は「20060208」

受験番号	○○○○○○○○○
生年月日 (西暦)	○○○○年○○月○○日

- ③ [合格] [不合格] [欠席・棄権]

おめでとうございます。
合格です。合格通知書を
郵送しました。

残念ながら不合格です。
追加合格については、
募集要項をご覧ください。

欠席または試験の一部
を受験していないため、
残念ながら不合格です。

〈注意事項〉

1. 利用時間は入試種別・入試方式ごとに定めてあり、期間外に見ることはできません。
2. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末から確認ができます。
3. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合は、ブラウザを調整してください。
4. 使用機種の性能やインターネットの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

追加合格

1. 合格者の入学手続状況により、入学手続者に欠員が生じた場合は、令和7年3月26日（水）まで順次繰り上げによる追加合格があります。本学は合格発表時に補欠合格者を発表しておりません。合格発表時に「不合格」となった方が追加合格の対象者となります。
2. 追加合格は、電話で出願時に登録した「電話番号」または「緊急連絡先」に連絡します。その際、入学意志の確認をします。例年、各入試種別の入学手続締切日夕方以降に連絡をすることが多いため、本学への入学を希望される方は、可能なかぎり待機しててください。

入学手続

納入した入学金および入学手続書類は、いかなる事情があっても返還しません。

詳細は、合格者に交付する「入学手続の手引」でご確認ください。

1. 入学手続時納入金

(1) 納入期間

A方式は13ページ、B方式は22ページの「選考日程」表でご確認ください。

納入期限までに本学の指定口座に送金されていない場合は、棄権とみなします。

※ 納入期限日に振り込む場合は、金融機関から本学への送金が当日扱いになるか金融機関の窓口で確認してから手続きをしてください。

※ なお、一般選抜A方式Ⅰ期・B方式Ⅰ期の合格者（追加合格の場合を除く）は、一括納入または分割納入（2段階方式）を選択することができます。詳細は「入学手続の手引」をご確認ください。

(2) 納入方法

入学手続締切日までに金融機関の窓口から**電信扱い**で振り込んでください。

ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATMからの振り込みはできません。

(3) 納入金額

入学する学部・学科により入学手続時納入金合計が異なります。36ページの表で確認してください。

(4) 入学手続時納入金の振替

一般選抜において入学手続を完了した方が、後に合格となった学科・専攻・コースへ入学を希望する場合、本学内で入学手続時納入金の振替ができます。

ただし、入学手続時納入金の納入期間が重なっている場合、振替はできません。

（例：一般選抜A方式Ⅰ期（繰り上げによる追加合格者を除く）から一般選抜B方式Ⅰ期（繰り上げによる追加合格者を除く）は納入期間が重なっているため振替不可）

2. 入学手続書類

「入学手続の手引」に従って、入学手続締切日〔郵送・当日消印有効〕までに**簡易書留速達**で郵送してください。

3. 入学辞退・納入金返還

一般選抜において入学手続時納入金を納入した方が入学を辞退する場合、本学所定の手続きを令和7年3月31日（月）までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金を返還します。

よくあるご質問

出 願

Q1 同じ入試方式の中で複数学科・専攻・コースに出願できますか？

A1 A方式Ⅰ期は、①同一試験日内の学科・専攻・コース、②試験日が異なる学科・専攻・コースどちらも可能です。受験時の注意点は、15ページで確認してください。
A方式Ⅱ期では、複数学科・専攻・コースに出願できません。
B方式Ⅰ期・Ⅱ期では、すべての学科・専攻・コースで出願できます。
またB方式Ⅰ期は2科目型と3科目型の併願も可能です。

Q2 A・B方式まとめて1つの封筒で郵送したいのですが、A方式とB方式の2枚の宛名ラベルが印刷されました。どちらを使用すればよいですか。

A2 通常はA・B方式で1枚の宛名ラベルが印刷されますので、そのままご使用いただけますがA方式・B方式それぞれで宛名ラベルが印刷された場合は、2枚のうち1枚を使用してください。宛名ラベルに「A方式・B方式」と明記のうえ、市販の封筒（角2型）に貼付し、簡易書留速達で郵送してください。

Q3 複数学科・専攻・コースに出願する場合、また、A・B方式両方に出願する場合、調査書は何通必要ですか？

A3 出願書類の郵送1回につき調査書1通が必要です。
A・B方式の各出願確認票を1つの封筒で郵送すれば調査書1通で出願可能です。

Q4 A方式Ⅰ・Ⅱ期の出願時に必要な写真はスピード写真でもよいですか？

A4 出願確認票の「写真貼付欄」の注意事項を満たし、顔が鮮明に写っているものであれば大丈夫です。受験の際にメガネを使用する方は、メガネを着用した写真を貼付してください。
なお、入学後の学生証の写真としては使用しません。

Q5 入学検定料の納入や出願は大学窓口でできますか？

A5 大学窓口での受付はしていません。

Q6 出願後に入試方式、志望学科・専攻・コース等を変更できますか？

A6 出願後の変更はできません。学部・学科・専攻・コース名、入試日、時間等を確認し間違いのないように出願してください。

Q7 紙の受験票が届きません。

A7 A方式・B方式ともWeb受験票を発行しています。詳細は29ページを確認してください。

試験当日（A方式）

Q8 試験はどのキャンパスで行いますか？

A8 すべての学部とも千代田キャンパスで行います。

Q9 試験開始に遅刻した場合でも受験できますか？

A9 試験開始から30分以内の遅刻に限り受験は認めますが、試験時間の延長はしません。

Q10 試験当日、電車が事故で止まってしまった場合、どうすれば良いですか？

A10 公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合は、集合時間までに必ず広報・入試センター（千代田・tel. 03-5275-0404）に連絡のうえ、なるべく早いルートで試験場に向かってください。遅延証明書は必要ありません。
なお、災害や事故などにより公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験開始時間を繰り下げることがあります。試験時間に変更が生じた場合は、本学ホームページにてお知らせします。

Q11 受験時の服装に注意点はありますか？上履きは必要ですか？

A11 服装は私服でも制服でも構いません。ただし、漢字、英文字、地図等が書かれた服は着用しないでください。上履きは必要ありません。

Q12 大学内に昼食場所はありますか？

A12 [A 方式Ⅰ期 (2/1、2/2)] 昼食時(12:20～13:10)は、試験場内で昼食をとることができます。
[A 方式Ⅱ期 (3/2)] 面接を受験する場合、控室で昼食をとることができます。
※面接開始時間は受験者によって 14:00 頃になる場合もあります。
試験場外に出ることもできますが、その際は必ず受験票を携帯してください。

Q13 A方式の選択必須科目および選択科目は、いつ選ぶのですか？また「英語資格・検定試験の成績」を活用する場合は「英語」の試験を受験しなくてもいいのですか？

A13 出願時でなく、受験時に選択してください。その時限に選択できる全ての科目の冊子を配付しますので、問題を見てからでも科目を選ぶことができます。また、A方式Ⅰ期では基準を満たした英語資格・検定試験の証明書類を出願時に提出していれば、試験日の「英語」を受験しなかった場合でも、資格・検定試験の成績を換算したものを英語の得点とします。「英語」の試験も受験した場合は資格・検定試験の成績を換算したものとどちらか高得点の方を判定に用います。

合格発表以降

Q14 入学手続期間を延ばしてもらえますか？

A14 入学手続期間の延長は行いません。手続期限までに手続がされていない場合は、いかなる事情があっても本学への入学の意志がないものとし、棄権とみなします。教育ローン等の融資や奨学金を受ける場合は、融資日等を事前によく確認しておいてください。

Q15 追加合格はありますか？

A15 入学手続者に欠員が生じた場合は、繰り上げによる追加合格を行うことがあります。詳細は 33 ページを参照してください。

Q16 入学を辞退する場合はどうすればよいですか？

A16 入学手続後に入学を辞退する場合は、合格発表日に郵送される「入学手続の手引」に従い所定の手続を行ってください。指定の期日までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金をお返しします。

Q17 I期で入学手続後、Ⅱ期で第一志望の学科に合格しました。納入金の振替はできますか？

A17 納入金を振り替えることができます。33 ページを参照してください。

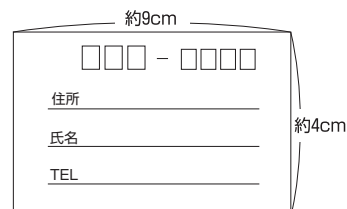
その他

Q18 出願者数は教えてもらえますか？

A18 出願期間中は、本学ホームページに出願状況を掲載します。

Q19 A方式の過去問題を見ることはできますか？

A19 請求者の住所、氏名、電話番号を記入した宛名カード（右記見本）と送料分の切手 310 円分（速達希望の場合は切手 640 円分）を同封し、封筒表面に「赤本請求」と朱書きの上、広報・入試センター（千代田）宛にお申し込みいただければ、昨年度の一般選抜 A 方式過去問題集を送付いたします。



約9cm

約4cm

□□□ - □□□□

住所

氏名

TEL

※ 在庫がなくなり次第、配布を終了させていただきます。

Q20 B方式の志望学科の『国語』の出題範囲に古典（古文、漢文）がありません。大学入学共通テストでは「近代以降の文章」の分野のみ解答すればいいのですか？

A20 解答方法については、受験者の判断で構いません。本学においては、各学科・専攻・コースにおいて指定した分野のみの得点を利用します。なお、特定の分野のみ解答する場合でも、大学入学共通テストでの試験時間は 90 分間です。

入学手続時納入金・学費等

入学する学部・学科・専攻・コースで入学手続時納入金額が異なります。なお、入学手続時納入金は、入学手続締切日まで一括納入する必要があります。以下の表で確認してください。また、一般選抜A方式Ⅰ期・B方式Ⅰ期の合格者（追加合格の場合を除く）は、一括納入または分割納入（２段階方式）を選択することができます。

大学学部（令和7年度）

（単位：円）

学部・学科 区分	家政学部					文学部	社会情報学部	人間関係学部	比較文化学部	データサイエンス学部	備 考
	被服学科	食物学科		児童学科	ライフデザイン学科	日本文学科 英語英文学科 コミュニケーション学科	社会情報学科	人間関係学科 人間福祉学科	比較文化学科	データサイエンス学科	
		食物学専攻	管理栄養士専攻								
入 学 金	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	150,000	入学時のみ
授 業 料	387,500	402,500	447,500	427,500	382,500	372,500	407,500	402,500	387,500	437,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教 育 充 実 費	240,000	240,000	240,000	235,000	235,000	235,000	240,000	235,000	235,000	240,000	前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害 傷 害 保 険 料	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	入学時のみ
千 鳥 会 費	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	年額
学 友 会 費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金合計	812,750	827,750	872,750	847,750	802,750	792,750	832,750	822,750	807,750	862,750	

＜参考＞

1 年次 後期分	授 業 料	387,500	402,500	447,500	427,500	382,500	372,500	407,500	402,500	387,500	437,500	例年9月に納入
	教 育 充 実 費	240,000	240,000	240,000	235,000	235,000	235,000	240,000	235,000	235,000	240,000	例年9月に納入
	合 計	627,500	642,500	687,500	662,500	617,500	607,500	647,500	637,500	622,500	677,500	
2 年次 の納入金	授 業 料	785,000	815,000	905,000	865,000	775,000	755,000	825,000	815,000	785,000	885,000	年額
	教 育 充 実 費	490,000	490,000	490,000	480,000	480,000	480,000	490,000	480,000	480,000	490,000	年額
	その他の納入金	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	毎年度若干の変動 の可能性あり
	合 計	1,287,600	1,317,600	1,407,600	1,357,600	1,267,600	1,247,600	1,327,600	1,307,600	1,277,600	1,387,600	
3 年次 の納入金	授 業 料	795,000	825,000	915,000	875,000	785,000	765,000	835,000	825,000	795,000	895,000	年額
	教 育 充 実 費	500,000	500,000	500,000	490,000	490,000	490,000	500,000	490,000	490,000	500,000	年額
	その他の納入金	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	毎年度若干の変動 の可能性あり
	合 計	1,307,600	1,337,600	1,427,600	1,377,600	1,287,600	1,267,600	1,347,600	1,327,600	1,297,600	1,407,600	
4 年次 の納入金	授 業 料	805,000	835,000	925,000	885,000	795,000	775,000	845,000	835,000	805,000	905,000	年額
	教 育 充 実 費	510,000	510,000	510,000	500,000	500,000	500,000	510,000	500,000	500,000	510,000	年額
	その他の納入金	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	毎年度若干の変動 の可能性あり
	合 計	1,327,600	1,357,600	1,447,600	1,397,600	1,307,600	1,287,600	1,367,600	1,347,600	1,317,600	1,427,600	

短期大学部（令和7年度）

（単位：円）

学部・学科 区分	短期大学部		備 考
	家政科		
	家政総合コース	食と栄養コース	
入 学 金	150,000	150,000	入学時のみ
授 業 料	362,500	362,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教 育 充 実 費	240,000	240,000	前期分 (後期分は前期と同額)
栄 養 士 専 攻 費		14,000	前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害 傷 害 保 険 料	1,400	1,400	入学時のみ
千 鳥 会 費	10,800	10,800	年額
学 友 会 費	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金合計	786,500	800,500	

＜参考＞

1 年次 後期分	授 業 料	362,500	362,500	例年9月に納入
	教 育 充 実 費	240,000	240,000	例年9月に納入
	その他の納入金		14,000	毎年度若干の変動 の可能性あり
	合 計	602,500	616,500	
2 年次 の納入金	授 業 料	735,000	735,000	年額
	教 育 充 実 費	490,000	490,000	年額
	その他の納入金	12,600	40,600	毎年度若干の変動 の可能性あり
	合 計	1,237,600	1,265,600	

（注）表中以外に以下の点にご注意ください。

- ア 実験実習の材料費およびオリエンテーション旅行費等は、実費を納入していただきます。
- イ 諸資格取得を希望する方は、入学後の所定の時期にそれぞれの課程履修費を納入していただきます。
- ウ 大妻コタカ記念会（同窓会）会費は、入学時から10年間分の会費です。

学生寮等

①大妻加賀寮（参考：令和6年度実績）

【所在地・電話番号】東京都新宿区市谷加賀町2-4-31（都営大江戸線牛込柳町駅 徒歩約7分） tel.03-5579-2080

●千代田キャンパスまで徒歩約25分

大妻加賀寮は、親元を離れて学ぶ学生のための、本学専用の学生寮です。

詳細は、入学手続書類に同封される案内冊子でお知らせします。

本学ホームページで、大妻加賀寮の情報を発信していますのでご覧ください。

(https://www.otsuma.ac.jp/campuslife/life_supports/dormitory/)

募集 人数	入寮期間 (入学時から)	入寮手続金					入寮手続金合計			入寮後の経費			
		入寮費	学寮費 (4月分)			食費 (3,4月分)				学寮費 (月額)			食費 (月額)
			個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム		個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム	個室	個室付 6人用 シェア ルーム	個室付 6人用 ワイド シェア ルーム	
未定	1年★	100,000円	78,000円	73,000円	75,000円	21,802円	199,802円	194,802円	196,802円	78,000円	73,000円	75,000円	(朝・夕 2食) 約20,000円

★入寮期間は入学時から1年としますが、更新手続きをすることで、更に入寮期間を1年延長することが可能で、最長大学は4年、短大は2年在寮できます。入寮期間の延長には、更新費（60,000円）が必要です。

- 寮室は、個室および個室付6人用シェアルーム、個室付6人用ワイドシェアルームです。
- 寮の管理を業者に委託しています(24時間常駐)。
- 入寮応募について詳しくは、入学手続書類に同封される案内冊子にあります。
- 光熱水費は、学寮費に含まれています。
- 学寮費は翌月分を毎月お支払いいただきます。
- 食費は翌月分を毎月お支払いいただきます。月の日数により食費は変動します。
- 見学を希望される方は、大妻加賀寮まで直接お問い合わせください。(日曜日・祝日および12/28～1/4を除く10:00～18:00)

②学生寮以外のひとり暮らし用住宅、学生会館を希望する方へ

本学では、学生向けのマンション・アパート・学生会館の紹介業務を、株式会社大妻サポートに委託しています。大妻サポートでは、信頼のおける学生住宅紹介専門会社や学生会館運営会社と提携し、マンション・アパート・学生会館を紹介しています。詳細は入学手続書類に同封される案内冊子をご覧ください。

(注) 株式会社大妻サポートは学校法人大妻学院の教育・研究の発展拡充と大妻生の皆さまの快適な学園生活をサポートするために大妻学院の100%出資により設立された事業会社です。

家政学部食物学科・短期大学部家政科食と栄養コースを受験する方へ

大妻女子大学家政学部食物学科食物学専攻と管理栄養士専攻および短期大学部家政科食と栄養コースは、厚生労働省から栄養士養成施設としての指定を受けています。これらの学科・専攻・コースに入学した学生はいずれにおいても、所定の科目の単位を修得することにより卒業を要件として、所定の手続きを経て栄養士免許証を取得することができます。

1. 家政学部食物学科

栄養士資格取得科目等

食物学科を卒業するためには、大学で授業を受け、単位を修得することが必要ですが、食物学専攻と管理栄養士専攻には「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うもの、学外の病院、事業所、保健所、会社などの給食施設で行うものがあります。

以下、参考として令和6年度入学生を対象に開講される実験・実習科目名と配当年次・単位数を表記します。

(1) 学内で行う実験・実習科目

〔食物学専攻専門教育科目〕			〔管理栄養士専攻専門教育科目〕		
生活環境学実験	1 年次	1 単位	生活環境実験	1 年次	1 単位
人体構造機能論実験	1 年次	1 単位	生化学実験	2 年次	1 単位
食品化学実験	2 年次	1 単位	人体構造機能論実験	1 年次	1 単位
食品学実験	2 年次	1 単位	栄養代謝実習	2 年次	1 単位
食安全学実験	2 年次	1 単位	食品学実験	1 年次	1 単位
栄養化学実験	2 年次	1 単位	食品化学実験	2 年次	1 単位
臨床栄養学実習	3 年次	1 単位	食安全学実験	2 年次	1 単位
応用栄養学実習	3 年次	1 単位	栄養学実験	2 年次	1 単位
食事設計論実習	2 年次	1 単位	ライフステージ栄養学実習	3 年次	1 単位
栄養教育論実習Ⅰ	2 年次	1 単位	臨床栄養学実習Ⅰ	2 年次	1 単位
栄養教育論実習Ⅱ	3 年次	1 単位	臨床栄養学実習Ⅱ	3 年次	1 単位
給食管理実習Ⅰ	3 年次	1 単位	栄養教育論実習Ⅰ	2 年次	1 単位
給食管理実習Ⅱ	3 年次	1 単位	栄養教育論実習Ⅱ	3 年次	1 単位
基礎調理学実習	1 年次	1 単位	公衆栄養学実習	3 年次	1 単位
調理学実習	1 年次	1 単位	基礎調理学実習Ⅰ	1 年次	1 単位
			基礎調理学実習Ⅱ	1 年次	1 単位
			食事設計論実習	2 年次	1 単位
			給食経営管理実習Ⅰ	3 年次	1 単位
			給食経営管理実習Ⅱ	3 年次	1 単位

★実験・実習科目は45時間の授業をもって1単位となります。

(2) 学外で行う実習

校外実習 3・4 年次 1 単位（食物学専攻の実習科目）

栄養士課程においては、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識および技能を修得することを目的として「給食の運営」について、1週間1単位以上を校外実習（物を対象とした業務）として必須としています。実習施設は、小・中学校、会社・事業所、社会福祉施設、自衛隊などです。

臨地実習Ⅰ 3・4 年次 1 単位 **臨地実習Ⅱ 3・4 年次 3 単位**（管理栄養士専攻の実習科目）

管理栄養士課程においては、実践活動の場での課題発見、解決を通して、栄養評価・判断に基づく適切なマネジメントを行うために必要とされる専門知識および技術の統合を図り、管理栄養士として具備すべき知識および技能を修得するため、臨地実習（人を対象とした業務）4単位以上（校外実習1単位以上を含む）を必須としています。実習施設は、病院、保健所・保健センター、小・中学校、社会福祉施設、会社・事業所、自衛隊などです。

2. 短期大学部家政科食と栄養コース

食と栄養コースでは、「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うものと、学外の会社・事業所、保育所、病院、老人福祉施設などの給食施設で行うものがあります。学外で行う校外実習（45時間で1単位）は、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として備えるべき知識および技能を修得することを目的としており、栄養士免許証取得のために必須です。

入学予定者への課題・プレイスメントテストについて

入学予定者に、入学までの期間を利用して各学科・専攻・コースからの課題に取り組んでもらうことにしています。

課題の内容については、合格者に交付する「入学手続の手引」で連絡します（本学ホームページにも掲載します）。
高等学校等で学んだことを復習し、入学後の学習に役立ててください。

また、学部によっては入学前または入学後に、英語のプレイスメントテストを実施します。

災害により被災した入学志願者に対する特別措置について

本学では、大規模自然災害で被災した入学志願者に対して、入学検定料や入学金の免除措置を講じています。

各入学試験日から遡り、1年前までの期間に生じた災害で、本学が指定する地域に居住していた方が対象になります。対象となる災害・地域や申請方法、適用条件等は本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

ご不明な点については、広報・入試センター（千代田 tel.03-5275-0404）までお問い合わせください。

履修地

千代田キャンパス

家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、
データサイエンス学部、短期大学部

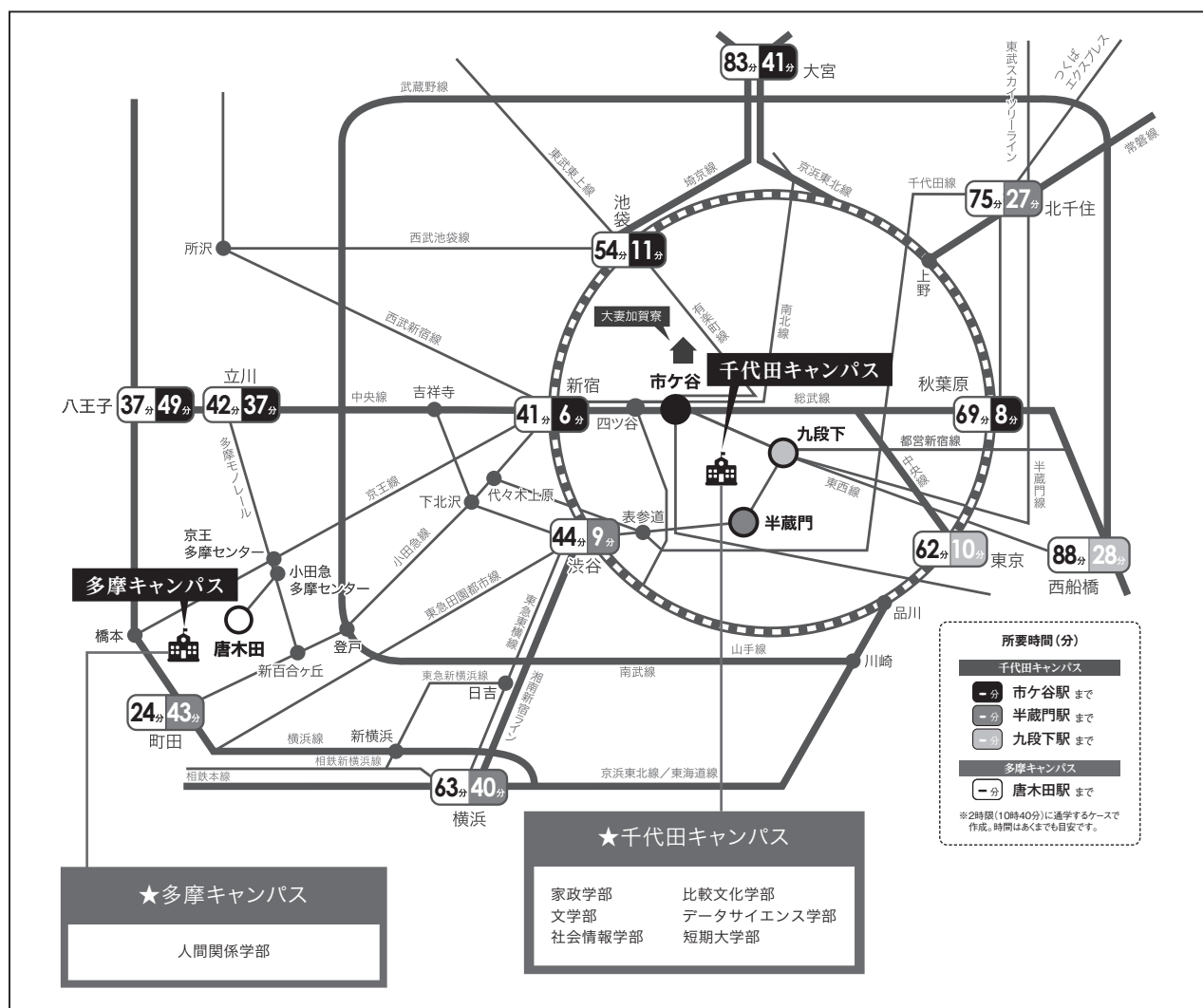
〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

多摩キャンパス

人間関係学部

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

キャンパス・学生寮配置図



問い合わせ先

受付時間 千代田：平日 8:30～16:40 土曜日 8:30～13:10
多 摩：平日 8:50～17:00 土曜日 8:50～13:30

内容		部署名	tel.
入試全般		広報・入試センター（千代田） 教育支援・学事グループ（多摩）	03-5275-0404 042-372-9970
授業内容等	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 データサイエンス学部 短期大学部	教育支援グループ（千代田）	03-5275-6061
	人間関係学部	教育支援・学事グループ（多摩）	042-372-9988
奨学金、学生寮等		学生支援グループ（千代田）	03-5275-6071
授業料等		財務グループ（千代田）	03-5275-6031

千代田キャンパス 〒 102-8357 東京都千代田区三番町 12 番地
多 摩キャンパス 〒 206-8540 東京都多摩市唐木田 2 丁目 7 番地 1